

法 学 号 外  
平成 29 年 3 月 7 日

各私立高等学校設置者 }  
各私立高等学校長 } 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 28 年度設置計画履行状況等調査等の結果について  
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

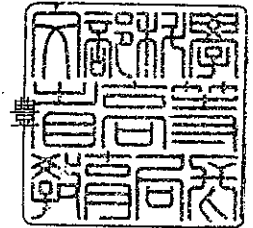
メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp



28 文科高第 1043 号  
平成 29 年 2 月 27 日

各都道府県教育委員会教育長  
各指定都市教育委員会教育長 殿  
各都道府県知事

文部科学省高等教育局長  
常 盤



(印影印刷)

平成 28 年度設置計画履行状況等調査等の結果について (通知)

文部科学省では、大学等の設置後、当該大学等の設置計画の履行状況等についての報告を求め、設置計画が確実に履行されているかの調査を行っています。このたび今年度の調査を終了し、別紙のとおり調査結果を取りまとめましたので、送付します。

本調査は、各大学等の教育研究水準の維持・向上のために実施しているものであり、高等学校関係者にとっても、新たに設置された大学等の状況を把握するための有益な情報となりますので、所管又は所轄の高等学校及び学校法人に周知いただく等、御活用ください。

なお、本調査の概要及び調査結果等については、文部科学省の下記ホームページにも掲載しておりますので、御参照ください。

○設置計画履行状況等調査に関すること

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ninka/1354957.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ninka/1354957.htm)

○寄附行為認可後の財政状況等調査に関すること

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/29/02/1382146.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/02/1382146.htm)

(担 当)

【設置計画履行状況等調査に関すること】

文部科学省高等教育局

高等教育企画課大学設置室 廣末, 篠原, 古賀

電 話 03-5253-4111 (内 2049)

ファクシミリ 03-6734-3385

e-mail d-secchi@mext.go.jp

【寄附行為認可後の財政状況等調査に関すること】

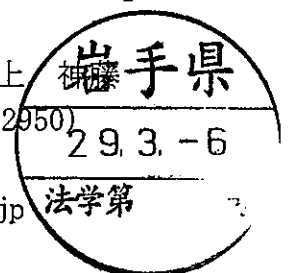
文部科学省高等教育局

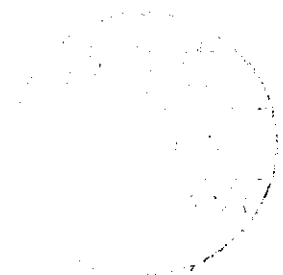
私学部私学行政課法人係 鳥居, 川上

電 話 03-5253-4111 (内 2950)

ファクシミリ 03-6734-3395

e-mail s-secchi@mext.go.jp





## 設置計画履行状況等調査の結果等について (平成28年度)

### 1. 調査の概要

設置計画履行状況等調査（以下「アフターケア」という。）は、大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年文部科学省令第12号）（以下「手続規則」という。）第14条（※1参照）に基づき、大学・大学院、短期大学、高等専門学校（以下「大学等」という。）の設置認可時等における留意事項及び授業科目の開設状況、教員組織の整備状況、その他の設置計画の履行状況について、各大学からの報告を求め、書面、面接又は実地により調査を行い、各大学の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施するものである。

### 2. 調査対象

アフターケアは、「大学設置分科会運営規則」第5条の2（※2参照）の規定に基づき、大学設置分科会の下に置かれた「設置計画履行状況等調査委員会」（以下「調査委員会」という。）（別添1）において、原則認可を受けた者又は届出を行った者のうち設置計画期間中にある者に対し、書面調査、面接調査、実地調査のいずれか又は併用によって行っている。なお、設置計画期間中に付された意見への対応が十分でなかった大学等には、完成年度以降も設置計画履行状況の調査を継続して行うこととしている。

平成28年度の調査対象校数は443校（国立76校、公立25校、私立342校）であり、これらすべてについて書面調査を行い、併せて面接調査を実施したのは14校、実地調査を実施したのは8校であった。

### 3. 平成28年度調査結果の概要

調査対象443校のうち、設置計画の履行状況等が不相当として是正意見及び改善意見が付された大学等は237校であり、意見が付されなかった大学等は206校であった。（別添2）

	国立	公立	私立	計
意見が付された大学等	2校	6校	229校	237校
是正意見が付された大学等	0校	0校	2校	2校
改善意見が付された大学等	2校	6校	229校	237校
意見が付されなかった大学等	74校	19校	113校	206校
計	76校	25校	342校	443校

※1校には是正意見と改善意見が付されている場合がある。

全体としては、各大学等において設置計画が着実に履行されており、設置計画の変更があったものも、相応の理由ややむを得ない事情があったものと認められる。ただし、定員の不適切な管理や設置計画期間中の教員組織の大きな変更など、設置計画の履行という観点から不適切な事例も見られた。これらの状況は、学生の教育環境の悪化を招くものであり、教育の質の維持・向上の観点からも早急な改善が求められるものである。

各大学等においては、設置認可申請に係る書類、あるいは届出に係る書類は、「各大学が社会に対して着実に実現していく構想を表したもの」であることを十分認識するとともに、特に下記の点について適切な対応をとるように改めて強く求めたい。

- 入学志願者や社会からのニーズを適切に踏まえた定員設定となっていない結果として、開設以来未充足が続いている状態、一方で、適切な入学者選抜が行われていない等により、大幅に定員を超えて学生を受け入れている状態の大学など、収容定員が適切に管理されていない大学が見られた。このような状態が継続する場合、教育環境の悪化が懸念されることから、各大学等においては、学生や社会からのニーズを踏まえた適切な定員管理が求められる。
- 辞任した専任教員の後任補充がされないために当初計画の教員組織を編制出来ず、主要授業科目を専任教員以外が担当する等、大学設置基準等に抵触する大学が見られた。このような状態が継続した場合、教員の負担が大きくなり研究活動に影響が出ることや、学生への教育の質への影響も懸念される。設置計画は確実に履行することが前提であり、仮にやむを得ない事由により教員の変更が生じた場合、適切に教員補充又は代替措置を講じ、教育研究に影響が出ないように配慮することが求められる。

なお、本調査において付される意見等の定義は以下のとおり。

意見等の種類	定義
留意事項	手続規則第13条に基づき、認可を受けた者が設置計画を履行するに当たって留意すべき事項
改善意見	設置計画履行状況調査の結果、留意事項の履行状況等に関し、改善を強く求める事項があり、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、その改善を求める意見。
是正意見	設置計画履行状況調査の結果、早急な是正が求められる場合、又は改善意見を受けた後に行った設置計画履行状況調査の結果、当該改善意見が求める事項について不履行がある場合若しくは対応が不十分な場合において、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、その早急な是正を求める意見。
警告	設置計画履行状況調査の結果、是正意見を受けながら、その早急な是正に向けた対応がなされていないと認められる場合に、認可を受けた者又は届出を行った者に対して、大学、大学院、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第3号（※3参照）に規定する「設置計画の履行の状況が著しく不適当な状態」に該当することになるおそれがある旨を伝達すること。

#### 4. 設置計画履行状況等報告書の情報公開等

履行状況を記載した設置計画履行状況等報告書は、社会に対する説明責任を果たす意味で大学として積極的に公開することが求められる。各大学等はこの意味に鑑み、積極的に公表いただきたい。ホームページ等を利用し公開する際、情報を必要とする者が容易に情

報を得られるよう工夫することが求められる。

また、全ての大学が受けることを義務付けられている「認証評価」（※4参照）とアフターケアの有機的な連携が図られるよう、引き続き、各認証評価機関に対して、本調査の結果を参考資料として送付することとしたい。

さらに、本調査の結果については、高等学校関係者にとっても有益な情報となることから、都道府県の高等学校担当部署（教育委員会及び私立学校所管部局）に対して送付することとしたい。

#### 〈参考資料〉

※1 大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成18年3月31日文科科学省令第12号）（抄）

第14条 文部科学大臣は、設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは、認可を受けた者又は届出を行った者に対し、その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め、又は調査を行うことができる。

※2 大学設置分科会運営規則（平成18年4月25日大学設置・学校法人審議会大学設置分科会決定（抄）

第5条の2 分科会に、次に掲げる事項の調査、審議又は指導及び助言等をさせるため、設置計画履行状況等調査委員会（以下この条及び第七条第三項において「調査委員会」という。）を置く。

一 大学設置・学校法人審議会令（昭和六十二年政令第三百二号）第五条第二号の規定により大学設置分科会の所掌事務とされたもののうち大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成十八年文科科学省令第十二号）第十四条に定める設置認可及び届出後の設置計画及び留意事項等の履行状況についての調査等

二 学校教育法第九十五条に基づき、同法第十五条第二項若しくは第三項の規定による命令又は第一項の規定による勅告に関し、文部科学大臣が大学設置・学校法人審議会に諮問した事項に関する必要な調査等

三 前二号に規定する調査等の改善方策に係る審議

四 設置認可及び届出後の質保証に係る審議

2～9 （略）

※3 大学、大学院、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年3月31日文科科学省告示第45号）（抄）

第2条 文部科学大臣は、大学、大学院、短期大学及び高等専門学校（以下この条において「大学等」という。）に関する法第四条第一項の認可の申請を審査する場合において、認可申請者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該認可をしないものとする。

1～2 （略）

3 大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則（平成十八年文科科学省令第十二号）第十三条に規定する設置計画の履行の状況が著しく不相当と認められる大学等を設置する者

※4 学校教育法（昭和22年3月31日法律第26号）（抄）

第109条

1 （略）

2 大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。ただし、認証評価機関が存在しない

場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

- 3 専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。



大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）  
設置計画履行状況等調査委員会 委員名簿

◎…主査

## 【委員】

◎ 浅田 尚紀  
大野 博之

兵庫県立大学理事・副学長

国際学院埼玉短期大学長

## 【特別委員】

岡田 豊基  
杉谷 祐美子

神戸学院大学法学部 教授

青山学院大学教育人間科学部教育学科 教授

## 【専門委員】

石井 良和

首都大学東京健康福祉学部作業療法学科 教授

石橋 みゆき

千葉大学大学院看護学研究科 准教授

内山 靖

名古屋大学大学院医学系研究科 教授

浦田 広朗

名城大学大学院大学・学校づくり研究科長・教授

小川 ひろし

関西大学社会学部社会学科 教授

小山田 恭子

東邦大学看護学部看護学科 准教授

唐津 博

中央大学法学部 教授

河合 壯

奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 教授

北山 三津子

岐阜県立看護大学看護学部長、看護学科 教授

熊谷 忠和

川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科長・教授

齊藤 貴浩

大阪大学経営企画オフィス 教授

坂井 修二

東京女子医科大学医学部 教授

坂井 建雄

順天堂大学大学院医学研究科 教授

清水 美憲

筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授

染矢 富士子

金沢大学医薬保健研究域 教授

高橋 和子

横浜国立大学教育人間科学部学校教育課程 教授

田中 京子

大阪府立大学地域保健学域看護学類 教授

徳井 丞次

信州大学経法学部応用経済学科 教授

二宮 啓子

神戸市看護大学副学長、看護学部看護学科 教授

橋詰 勉

京都薬科大学薬学部薬学科 教授

平井 貴美代

山梨大学大学院総合研究部教育学域 教授

藤本 元啓

崇城大学総合教育センター 教授

間瀬 健二

名古屋大学大学院情報科学研究科 教授

真部 真里子

同志社女子大学生活科学部食物栄養科学科 教授

道又 爾

上智大学総合人間科学部心理学科 教授

村上 和彰

九州大学 名誉教授

森 香織

日本大学芸術学部デザイン学科 教授

柳澤 理子

愛知県立大学看護学部看護学科 教授



## ○「是正意見」が付された大学等（2校）

NO.	設置者 区分	大学名等	是正意見の内容
174	私立	神戸医療福祉大学	○必修の専門科目で主要な科目である「障害者福祉論Ⅰ」、「ソーシャルワーク総論」については、現在専任教員が担当しておらず、大学設置基準10条に抵触しているため、早急に専任教員を配置すること。（社会福祉学部社会福祉学科）
226	私立	小田原短期大学	○平成26年に開設して以降入学定員を超過して学生を受け入れ、平成28年度に入学定員を大きく増加させても、なお入学定員以上の学生を受け入れていることについて、大学として入学定員を守る意識がないと言わざるを得ないことから、適切な定員管理を行うこと。（保育学科（通信教育課程））

○「改善意見」が付された大学等（国立2校、公立6校、私立229校）

※は、是正意見も付されている大学。

1	国立	長岡技術科学大学 長岡技術科学大学大学院
2	国立	京都大学大学院
3	公立	新潟県立大学大学院
4	公立	敦賀市立看護大学
5	公立	兵庫県立大学大学院
6	公立	和歌山県立医科大学大学院
7	公立	福山市立大学 福山市立大学大学院
8	公立	長崎県立大学
9	私立	札幌大学
10	私立	札幌大谷大学
11	私立	札幌国際大学大学院
12	私立	札幌保健医療大学
13	私立	苫小牧駒澤大学
14	私立	日本医療大学
15	私立	北翔大学
16	私立	北海学園大学大学院
17	私立	北海商科大学大学院
18	私立	北海道科学大学 北海道科学大学大学院
19	私立	北海道情報大学
20	私立	青森中央学院大学
21	私立	八戸学院大学
22	私立	石巻専修大学
23	私立	仙台大学
24	私立	仙台白百合女子大学
25	私立	東北工業大学
26	私立	東北医科薬科大学
27	私立	宮城学院女子大学
28	私立	東北芸術工科大学
29	私立	いわき明星大学
30	私立	福島学院大学
31	私立	日本ウェルネススポーツ大学
32	私立	足利工業大学
33	私立	宇都宮共和大学
34	私立	国際医療福祉大学
35	私立	作新学院大学
36	私立	群馬医療福祉大学
37	私立	上武大学
38	私立	高崎健康福祉大学
39	私立	東京福祉大学
40	私立	埼玉学園大学 埼玉学園大学大学院
41	私立	十文字学園女子大学 十文字学園女子大学大学院
42	私立	城西大学大学院
43	私立	聖学院大学
44	私立	東京国際大学
45	私立	獨協大学
46	私立	日本薬科大学
47	私立	植草学園大学
48	私立	江戸川大学
49	私立	川村学園女子大学 川村学園女子大学大学院
50	私立	淑徳大学 淑徳大学大学院
51	私立	城西国際大学 城西国際大学大学院
52	私立	聖徳大学

53	私立	千葉科学大学
54	私立	千葉商科大学
55	私立	東京基督教大学大学院
56	私立	青山学院大学
57	私立	跡見学園女子大学
58	私立	嘉悦大学 嘉悦大学大学院
59	私立	恵泉女学園大学
60	私立	國學院大学
61	私立	駒澤大学大学院
62	私立	駒沢女子大学
63	私立	上智大学 上智大学大学院
64	私立	白百合女子大学
65	私立	杉野服飾大学大学院
66	私立	大正大学
67	私立	玉川大学 玉川大学大学院
68	私立	帝京大学 帝京大学大学院
69	私立	帝京科学大学
70	私立	帝京平成大学 帝京平成大学大学院
71	私立	東海大学 東海大学大学院
72	私立	東京有明医療大学大学院
73	私立	東京医療学院大学
74	私立	東京医療保健大学大学院
75	私立	東京純心大学
76	私立	東京電機大学大学院
77	私立	東京富士大学
78	私立	東京未来大学
79	私立	東京理科大学
80	私立	東洋大学 東洋大学大学院
81	私立	東洋学園大学
82	私立	日本大学
83	私立	日本体育大学
84	私立	文京学院大学
85	私立	法政大学 法政大学大学院
86	私立	武蔵大学
87	私立	武蔵野大学 武蔵野大学大学院
88	私立	ヤマザキ学園大学
89	私立	関東学院大学 関東学院大学大学院
90	私立	相模女子大学
91	私立	松蔭大学
92	私立	湘南医療大学
93	私立	昭和音楽大学大学院
94	私立	星槎大学大学院
95	私立	横浜創英大学 横浜創英大学大学院
96	私立	横浜薬科大学
97	私立	新潟医療福祉大学 新潟医療福祉大学大学院
98	私立	新潟経営大学
99	私立	新潟工科大学
100	私立	新潟薬科大学

101	私立	高岡法科大学
102	私立	金沢学院大学 金沢学院大学大学院
103	私立	金沢工業大学 金沢工業大学大学院
104	私立	金沢星稜大学
105	私立	金城大学 金城大学大学院
106	私立	北陸学院大学
107	私立	福井工業大学 福井工業大学大学院
108	私立	健康科学大学
109	私立	山梨学院大学
110	私立	佐久大学大学院
111	私立	諏訪東京理科大学
112	私立	長野保健医療大学
113	私立	朝日大学
114	私立	岐阜医療科学大学大学院
115	私立	中部学院大学
116	私立	東海学院大学
117	私立	静岡福祉大学
118	私立	聖隷クリストファー大学 聖隷クリストファー大学大学院
119	私立	常葉大学
120	私立	愛知淑徳大学 愛知淑徳大学大学院
121	私立	愛知東邦大学
122	私立	岡崎女子大学
123	私立	修文大学
124	私立	同朋大学大学院
125	私立	豊橋創造大学
126	私立	名古屋学院大学
127	私立	名古屋商科大学
128	私立	日本福祉大学
129	私立	人間環境大学 人間環境大学大学院
130	私立	藤田保健衛生大学大学院
131	私立	鈴鹿医療科学大学 鈴鹿医療科学大学大学院
132	私立	四日市大学
133	私立	聖泉大学大学院
134	私立	びわこ学院大学
135	私立	びわこ成蹊スポーツ大学
136	私立	大谷大学大学院
137	私立	京都学園大学
138	私立	京都華頂大学
139	私立	京都光華女子大学 京都光華女子大学大学院
140	私立	京都精華大学
141	私立	京都造形芸術大学 京都造形芸術大学大学院
142	私立	京都橋大学 京都橋大学大学院
143	私立	京都美術工芸大学
144	私立	同志社女子大学 同志社女子大学大学院
145	私立	佛教大学大学院
146	私立	龍谷大学
147	私立	追手門学院大学
148	私立	大阪青山大学

※「NO.」は、意見全体の「NO.」と共通。

NO.	区分	大学名称
149	私立	大阪観光大学
150	私立	大阪経済法科大学 大阪経済法科大学大学院
151	私立	大阪国際大学
152	私立	大阪樟蔭女子大学 大阪樟蔭女子大学大学院
153	私立	大阪女学院大学大学院
154	私立	大阪総合保育大学大学院
155	私立	大阪体育大学
156	私立	大阪人間科学大学
157	私立	大阪行岡医療大学
158	私立	関西大学 関西大学大学院
159	私立	関西医療大学
160	私立	関西福祉科学大学
161	私立	摂南大学大学院
162	私立	相愛大学
163	私立	太成学院大学
164	私立	帝塚山学院大学
165	私立	梅花女子大学
166	私立	東大阪大学
167	私立	森ノ宮医療大学
168	私立	大和大学
169	私立	大手前大学
170	私立	関西看護医療大学大学院
171	私立	関西国際大学 関西国際大学大学院
172	私立	関西福祉大学
173	私立	甲子園大学
174	私立	神戸国際大学
175	私立	神戸芸術工科大学 神戸芸術工科大学大学院
176	私立	神戸松蔭女子学院大学
177	私立	神戸山手大学
178	私立	宝塚医療大学
179	私立	姫路獨協大学
180	私立	兵庫大学
181	私立	流通科学大学
182	私立	畿央大学大学院
183	私立	帝塚山大学
184	私立	天理大学大学院
185	私立	奈良学園大学
186	私立	高野山大学
187	私立	鳥取看護大学
188	私立	岡山理科大学 岡山理科大学大学院
189	私立	環太平洋大学
190	私立	吉備国際大学
191	私立	倉敷芸術科学大学
192	私立	山陽学園大学大学院
193	私立	就実大学 就実大学大学院
194	私立	中国学園大学
195	私立	比治山大学
196	私立	広島経済大学
197	私立	広島工業大学 広島工業大学大学院
198	私立	広島国際大学
199	私立	広島国際学院大学
200	私立	広島女学院大学

NO.	区分	大学名称
201	私立	広島都市学園大学
202	私立	広島文化学園大学 広島文化学園大学大学院
203	私立	安田女子大学 安田女子大学大学院
204	私立	東亜大学 東亜大学大学院
205	私立	四国大学大学院
206	私立	徳島文理大学 徳島文理大学大学院
207	私立	聖カトリナ大学
208	私立	九州栄養福祉大学
209	私立	九州産業大学
210	私立	第一薬科大学
211	私立	筑紫学園大学
212	私立	日本経済大学 日本経済大学大学院
213	私立	福岡女学院大学 福岡女学院大学大学院
214	私立	保健医療経営大学
215	私立	西九州大学 西九州大学大学院
216	私立	長崎ウエスレヤン大学
217	私立	長崎総合科学大学
218	私立	九州保健福祉大学
219	私立	宮崎国際大学
220	私立	第一工業大学
221	私立短大	札幌大学女子短期大学部
222	私立短大	青森明の星短期大学
223	私立短大	弘前医療福祉大学短期大学部
224	私立短大	聖和学園短期大学
225	私立短大	仙台青葉学院短期大学
226	私立短大	大宮国際短期大学
227	私立短大	金沢学院短期大学
228	私立短大	大垣女子短期大学
229	私立短大	岐阜保健短期大学
230	私立短大	東海学院大学短期大学部
231	私立短大	愛知江南短期大学
232	私立短大	名古屋経営短期大学
233	私立短大	池坊短期大学
234	私立短大	大阪成蹊短期大学
235	私立短大	神戸山手短期大学
236	私立短大	宮崎学園短期大学
237	私立高専	金沢工業高等専門学校

※「NO.」は、意見全体の「NO.」と共通。

○意見が付されなかった大学等（国立74校、公立19校、私立113校）

国立	北海道大学
	北海道大学大学院
国立	北海道教育大学
国立	室蘭工業大学大学院
国立	帯広畜産大学
国立	弘前大学
国立	岩手大学
国立	東北大学大学院
国立	秋田大学
	秋田大学大学院
国立	山形大学大学院
国立	茨城大学大学院
国立	筑波大学大学院
国立	宇都宮大学
	宇都宮大学大学院
国立	群馬大学
国立	埼玉大学
	埼玉大学大学院
国立	千葉大学
	千葉大学大学院
国立	東京大学
	東京大学大学院
国立	東京医科歯科大学大学院
国立	東京外国語大学大学院
国立	東京学芸大学
国立	東京農工大学
	東京農工大学大学院
国立	東京芸術大学大学院
国立	東京工業大学
	東京工業大学大学院
国立	お茶の水女子大学大学院
国立	電気通信大学
	電気通信大学大学院
国立	富山大学大学院
国立	金沢大学大学院
国立	福井大学
	福井大学大学院
国立	山梨大学大学院
国立	信州大学
	信州大学大学院
国立	岐阜大学
国立	静岡大学
	静岡大学大学院
国立	名古屋大学大学院
国立	名古屋工業大学
	名古屋工業大学大学院
国立	三重大学大学院
国立	滋賀医科大学大学院
国立	京都工芸繊維大学大学院
国立	大阪大学大学院
国立	兵庫教育大学大学院
国立	神戸大学
	神戸大学大学院
国立	奈良教育大学大学院
国立	奈良女子大学
	奈良女子大学大学院
国立	和歌山大学
	和歌山大学大学院
国立	鳥取大学
国立	島根大学大学院

国立	岡山大学大学院
国立	広島大学大学院
国立	山口大学
	山口大学大学院
国立	徳島大学
	徳島大学大学院
国立	香川大学大学院
国立	愛媛大学
	愛媛大学大学院
国立	高知大学
国立	福岡教育大学
国立	九州大学大学院
国立	九州工業大学大学院
国立	佐賀大学
	佐賀大学大学院
国立	長崎大学
	長崎大学大学院
国立	大分大学
	大分大学大学院
国立	宮崎大学
	宮崎大学大学院
国立	鹿児島大学
	鹿児島大学大学院
国立	鹿児島大学大学院
国立	琉球大学大学院
国立	北陸先端科学技術大学院大学
国立高専	函館工業高等専門学校
国立高専	苫小牧工業高等専門学校
国立高専	釧路工業高等専門学校
国立高専	八戸工業高等専門学校
国立高専	鶴岡工業高等専門学校
国立高専	福島工業高等専門学校
国立高専	小山工業高等専門学校
国立高専	津山工業高等専門学校
国立高専	阿南工業高等専門学校
国立高専	高知工業高等専門学校
国立高専	有明工業高等専門学校
国立高専	北九州工業高等専門学校
公立	秋田県立大学大学院
公立	秋田公立美術大学
公立	山形県立米沢栄薫大学
公立	福島県立医科大学大学院
公立	群馬県立県民健康科学大学大学院
公立	埼玉県立大学大学院
公立	富山県立大学大学院
公立	静岡県立大学大学院
公立	大阪府立大学
	大阪府立大学大学院
公立	公立鳥取環境大学大学院
公立	島根県立大学大学院
公立	県立広島大学大学院
公立	下関市立大学大学院
公立	愛媛県立医療技術大学大学院
公立	高知県立大学大学院
公立	高知工科大学
公立	福岡女子大学大学院
公立	会津大学短期大学部
公立	静岡県立大学短期大学部
私立	千歳科学技術大学
私立	日本赤十字北海道看護大学大学院

私立	北海道医療大学
	北海道医療大学大学院
私立	北海道文教大学大学院
私立	酪農学園大学
	酪農学園大学大学院
私立	岩手医科大学大学院
私立	東北学院大学
私立	東北福祉大学
	東北福祉大学大学院
私立	東北文化学園大学
私立	日本赤十字秋田看護大学大学院
私立	茨城キリスト教大学
私立	つくば国際大学
私立	群馬パース大学
私立	尚美学園大学
私立	駿河台大学
私立	日本医療科学大学
私立	日本工業大学大学院
私立	日本保健医療大学
私立	人間総合科学大学大学院
私立	文教大学
	文教大学大学院
私立	敬愛大学
私立	千葉工業大学
私立	東京情報大学
私立	放送大学大学院
私立	和洋女子大学
私立	亜細亜大学
私立	桜美林大学
私立	学習院大学
	学習院大学大学院
私立	共立女子大学
	共立女子大学大学院
私立	杏林大学
私立	国立音楽大学
私立	工学院大学
私立	実践女子大学
私立	順天堂大学
	順天堂大学大学院
私立	昭和女子大学
	昭和女子大学大学院
私立	聖心女子大学
私立	創価大学
私立	拓殖大学大学院
私立	多摩美術大学
私立	中央大学
私立	東京医科大学
私立	東京音楽大学大学院
私立	東京家政大学
私立	東京工科大学
私立	東京造形大学大学院
私立	東京都市大学
私立	東京農業大学
私立	東京薬科大学
私立	日本医科大学大学院
私立	日本社会事業大学大学院
私立	日本赤十字看護大学大学院
私立	明治大学
	明治大学大学院
私立	明治学院大学大学院

区分	大学名
私立	明星大学
	明星大学大学院
私立	立正大学大学院
私立	ルーテル学院大学
私立	早稲田大学
	早稲田大学大学院
私立	神奈川大学大学院
私立	神奈川工科大学
私立	産業能率大学
私立	田園調布学園大学大学院
私立	桐蔭横浜大学大学院
私立	横浜商科大学
私立	国際大学大学院
私立	長岡大学
私立	新潟国際情報大学
私立	新潟青陵大学
	新潟青陵大学大学院
私立	金沢医科大学大学院
私立	岐阜聖徳学園大学
私立	静岡産業大学
私立	愛知学院大学
私立	金城学院大学
私立	中京大学
私立	中部大学
	中部大学大学院
私立	東海学園大学
私立	名古屋外国語大学
私立	南山大学大学院
私立	日本赤十字豊田看護大学大学院
私立	名城大学
私立	鈴鹿大学
私立	京都看護大学
私立	京都産業大学
	京都産業大学大学院
私立	京都女子大学大学院
私立	京都文教大学
私立	同志社大学
	同志社大学大学院
私立	立命館大学
	立命館大学大学院
私立	藍野大学大学院
私立	大阪医科大学大学院
私立	大阪成蹊大学
私立	関西外国語大学
私立	近畿大学
	近畿大学大学院
私立	四條畷学園大学
私立	プール学院大学
私立	関西学院大学
	関西学院大学大学院
私立	神戸学院大学
私立	神戸女子大学
	神戸女子大学大学院
私立	兵庫医療大学大学院
私立	武庫川女子大学
	武庫川女子大学大学院
私立	天理医療大学
私立	日本赤十字広島看護大学大学院
私立	広島修道大学
私立	梅光学院大学

区分	大学名
私立	松山大学大学院
私立	久留米大学大学院
私立	産業医科大学大学院
私立	西南学院大学大学院
私立	日本赤十字九州国際看護大学大学院
私立	福岡工業大学
	福岡工業大学大学院
私立	長崎国際大学大学院
私立	沖縄科学技術大学院大学
私立短大	昭和学院短期大学
私立短大	湘北短期大学
私立短大	鈴鹿短期大学

## 平成28年度 設置計画履行状況等調査意見

※国立大学の「認可又は届出」欄の「意見伺い」は公私立大学における「認可」、「事前伺い」は「届出」に相当する手続き。

No.	設置区分	大学名称	認可又は届出	学部学科設置	学部学科名称	定員	設置計画の履行状況	調査意見
1	国立	長岡技術科学大学	事前伺い	学部学科設置	工学部 環境社会基盤工学課程	27	○ 工学部環境社会基盤工学課程の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
		長岡技術科学大学大学院	事前伺い	専攻設置又は課程変更	工学研究科 環境社会基盤工学専攻 (M)	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等（工学部機械製造工学課程、電気電子情報工学課程）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
			事前伺い	専攻設置又は課程変更	工学研究科 技術科学イノベーション専攻 (D)	27		
2	国立	京都大学大学院	意見伺い	研究科設置	総合生存学館 総合生存学専攻 (D)	25	○ 総合生存学館総合生存学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
3	公立	新潟県立大学大学院	認可	大学院設置	国際地域学研究科 国際地域学専攻 (M)	27	○ 国際地域学研究科国際地域学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
4	公立	敦賀市立看護大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科	26	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
5	公立	兵庫県立大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	地域資源マネジメント研究科 地域資源マネジメント専攻 (D)	28	○ 地域資源マネジメント研究科地域資源マネジメント専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
6	公立	和歌山県立医科大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	保健看護学研究科 保健看護学専攻 (D)	25	○ 保健看護学研究科保健看護学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
7	公立	福山市立大学	認可	大学設置	教育学部 児童教育学科 都市経営学部 都市経営学科	23	○ 教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
		福山市立大学大学院	認可	大学院設置	教育学研究科 児童教育学専攻 (M) 都市経営学研究科 都市経営学専攻 (M)	27	○ 教育学研究科児童教育学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
8	公立	長崎県立大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科 国際経営学科	28	○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	地域創造学部 公共政策学科 実践経済学科	28	○ 地域創造学部公共政策学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見



NO	設置区分	大学名称	認可文部省	設置区分	学部名・専攻科名称	設置年度	是正意見と対応措置	
9	私立	札幌大学	届出	学部設置	地域共創学群 人間社会学域	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等（札幌大学女子短期大学部キャリアデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
10	私立	札幌大谷大学	認可	学部設置	社会学部 地域社会学科	24	○ 社会学部地域社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
11	私立	札幌国際大学大学院	認可	研究科設置	スポーツ健康指導研究科 スポーツ健康指導専攻（M）	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等（人文学部現代文化学科、観光学部観光ビジネス学科、国際観光学科、スポーツ人間学部スポーツビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
12	私立	札幌保健医療大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科	25	○ 辞任等した教員が担当していた科目の後任が未定であり担当者が減少している科目が見受けられる中で、更に今年度も教員が4名退職する予定となっていることから、本学において策定している平成30年度までの教員配置計画について着実に実施し、適切な教員配置となるよう引き続き努めること。また、教育上支障をきたさないことはもとより、学生や他の教員に負担がかからないよう十分に配慮すること。なお、教員の補充に当たっては、教育の質を担保する観点から、科目の教育課程上の位置付けを考慮した上で退職した教員と同じ職位の教員を補充する等、教員組織における職位のバランスにも配慮すること。（看護学部看護学科）  ○ 来年度も多数の教員の入れ替わりが予定されていることから、入念なFD活動や研修会等により教員組織の一体化にも努めること。また、各領域の専任教員のサポートの下で演習や実習を行っている非常勤の学内演習指導教員・学外実習指導教員が多いことから、専任教員との十分な連携を図るよう配慮すること。（看護学部看護学科）  ○ オムニバス科目である「成人看護活動論Ⅱ」について、シラバスでは共同科目であるように誤解を招く記載であることから、実際に行う授業内容に沿った学生にとって分かりやすいシラバスとなるよう適切に改めること。（看護学部看護学科）	改善意見  改善意見  改善意見
13	私立	苫小牧駒澤大学	届出	学部学科設置	国際文化学部 キャリア創造学科	25	○ 国際文化学部キャリア創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等（国際文化学部国際文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見  改善意見
14	私立	日本医療大学	認可	学部学科設置	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻	27	○ 保健医療学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			認可	学部学科設置	保健医療学部 診療放射線学科	28	○ 保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
15	私立	北翔大学	届出	学部設置	教育文化学部 教育学科 芸術学科 心理カウンセリング学科	26	○ 教育文化学部芸術学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

			届出	学部学科設置	生涯スポーツ学部 健康福祉学科	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯スポーツ学部健康福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>同一設置者が設置する既設学部等（北翔大学短期大学部ライフデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見
16	私立	北海学園大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 電子情報生命工学専攻（M）	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一設置者が設置する既設学部等（工学部社会環境工学科、建築学科）の入学定員超過の改善に努めること。</li> </ul>	改善意見
17	私立	北海商科大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	商学研究科 ビジネス専攻（D）	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一設置者が設置する既設学部等（北海学園大学工学部社会環境工学科、建築学科）の入学定員超過の改善に努めること。</li> </ul>	改善意見
18	私立	北海道科学大学	認可	学部学科設置	保健医療学部 看護学科	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>遠隔地を含む多数の実習先があるが、以下の点から実習の質の確保に努めること。（保健医療学部看護学科） <ul style="list-style-type: none"> <li>実習指導のインストラクターを採用しているが、インストラクターへの指導、研修などが十分とは見受けられないため、インストラクターへの研修等を充実させること。</li> <li>実習指導体制として、「引率」と「巡回」が示されているが、2つの体制の違いが適切に説明されず指導体制として十分か判断としないことから、いずれの場合でも十分な教育が行われるように体制を充実させること。</li> </ul> </li> <li>認可時に計画されている専任教員のうち7人（全体の約25%）が辞任、未就任等により変更されており、速やかに後任が補充されていない事例も見受けられる。また、これに対して、原因分析や今後の対策なども大学として検討がなされていない。辞任等が多く発生した原因を分析する等により、将来的な教員組織編制の在り方を検討すること。（保健医療学部看護学科）</li> </ul>	改善意見 改善意見
19	私立	北海道情報大学	届出	学部設置	医療情報学部 医療情報学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報学部医療情報学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>同一設置者が設置する既設学部等（経営情報学部先端経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見
20	私立	青森中央学院大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
21	私立	八戸学院大学	認可	学部学科設置	健康医療学部 看護学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>同一設置者が設置する既設学部等（八戸学院短期大学部ライフデザイン学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見
22	私立	石巻専修大学	認可	学部設置	人間学部 人間教育学科 人間文化学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>理工学部生物科学科の入学定員超過の改善に努めること。</li> </ul>	改善意見
			届出	学部学科設置	理工学部 食環境学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間学部人間文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見

NO	設置区分	大学名称	届出又は届出	設置区分	学部名称 (併設学部名称)	設置年度	是正意見又は改善意見
			届出	学部学科設置	理工学部 生物科学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理工学部食環境学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等(理工学部機械工学科、情報電子工学科、経営学部経営学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>
23	私立	仙台大学	届出	学部学科設置	体育学部 現代武道学科	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育学部現代武道学科の入学定員超過の改善に努めること。</li> <li>○ 体育学部現代武道学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>
24	私立	仙台白百合女子大学	届出	学部学科設置	人間学部 心理福祉学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等(白百合女子大学人間総合学部児童文化学科)の入学定員超過の改善に努めること。</li> </ul>
			届出	学部学科設置	人間学部 グローバル・スタディーズ学科	25	
25	私立	東北工業大学	届出	学部学科設置	工学部 環境エネルギー学科	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工学部環境エネルギー学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>
26	私立	東北医科薬科大学	認可	学部設置	医学部 医学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 附属病院の整備計画のうち、認可時の計画から遅れている1病院の譲渡についての今後の具体的な見直しを報告すること。(医学部医学科)</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等(薬学部生命薬科学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>
			届出	学部設置	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代ビジネス学部現代ビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>
27	私立	宮城学院女子大学	認可	学部設置	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活科学部食品栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 生活科学部生活文化デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等(学芸学部人間文化学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>
			届出	学部設置	生活科学部 食品栄養学科 生活文化デザイン学科	28	
			届出	学部設置	教育学部 教育学科	28	
28	私立	東北芸術工科大学	届出	学部学科設置	デザイン工学部 コミュニティデザイン学科	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等(芸術学部歴史遺産学科、文化財保存修復学科)の入学定員超過の改善に努めること。</li> </ul>
29	私立	いわき明星大学	届出	学部設置	教養学部 地域教養学科	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教養学部地域教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>

30	私立	福島学院大学	認可	学部学科設置	福祉学部 こども学科	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 福祉学部こども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（福島学院大学短期大学部食物栄養科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見
31	私立	日本ウェルネススポーツ大学	認可	大学設置	スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科 (通信教育課程)	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツプロモーション学部スポーツプロモーション学科（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> </ul>	改善意見
32	私立	足利工業大学	届出	学部学科設置	工学部 創生工学科	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工学部創生工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見
33	私立	宇都宮共和大学	認可	学部設置	子ども生活学部 子ども生活学科	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども生活学部子ども生活学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（シティライフ学部シティライフ学科、宇都宮短期大学音楽科、人間福祉学科社会福祉専攻、介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見
34	私立	国際医療福祉大学	届出	学部設置	成田保健医療学部 理学療法学科 作業療法学科 言語聴覚学科 医学検査学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「専門基礎科目」のうち、配当年次を複数年設定している科目があるが、早期（1、2年次）に修得すべき内容の科目や、順序性が担保できていない科目が見受けられる。また、既に配布されている履修モデルと授業科目の一覧の配当年次に不整合も見受けられる。科目の体系性を考慮した配当年次を設定するとともに、正しい履修モデルの提示や履修指導により、効果的な教育課程が履修できるよう工夫すること。（成田保健医療学部理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、成田看護学部看護学科）</li> </ul>	改善意見
				届出	学部設置	成田看護学部 看護学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 担当科目数が著しく多い専任教員がいることから、教員の専門性と科目内容の整合性に留意しつつ、負担が偏らないように適切な教員組織編制となるよう改善すること。また、オムニバス科目は各担当教員の専門性を踏まえ、各専門領域を十分に教授できるように検証し、充実することが望ましい。（成田保健医療学部理学療法学科、成田看護学部看護学科）</li> <li>○ 保健師課程を履修できる学生の選抜方法や選抜基準が曖昧であり、必要な情報が適切に周知されていないため、学生に不利益が生じる可能性がある。選抜方法や基準を早期に確定し、選抜方法や前提科目の履修など要件を周知するとともに、適切な履修指導を行うこと。（成田看護学部看護学科）</li> <li>○ 届出時においては、1年次の実習科目から実習助手を配置する計画が示されているが、調査時点においては、実習助手が配置されていない状況である。学年進行に応じて臨地実習の対象学生数や対象機関が増えることを踏まえ、実習助手の確保は重要となる。報告書に示された要件を満たした実習助手の確保を図るとともに、担当教員との連携やFDへの参加等により実習助手の能力向上に努め、当初計画に基づく実習指導体制を担保すること。（成田看護学部看護学科）</li> </ul>

NO	設置区分	大学名称	認可 文部 届出	設置区分	学部名 設置名称等	設置年度	是正意見又は改善建議
							<p>○ 成田保健医療学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 成田保健医療学部医学検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 成田看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p>
35	私立	作新学院大学	届出	学部学科設置	経営学部 経営学科	26	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間文化学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
			届出	学部学科設置	経営学部 スポーツマネジメント学科	26	
36	私立	群馬医療福祉大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	22	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（群馬医療福祉大学短期学部医療福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
37	私立	上武大学	届出	学部学科設置	ビジネス情報学部 国際ビジネス学科	26	<p>○ ビジネス情報学部国際ビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p>
38	私立	高崎健康福祉大学	認可	学部設置	人間発達学部 子ども教育学科	24	<p>○ 人間発達学部子ども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p>
39	私立	東京福祉大学	届出	学部設置	教育学部 教育学科	19	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（社会福祉学部保育児童学科、東京福祉大学短期学部こども学科保育・幼児教育専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
			届出	通信開設	教育学部 教育学科（通信教育課程）	19	
40	私立	埼玉学園大学	届出	学部設置	経済経営学部 経済経営学科	25	<p>○ 経済経営学部経済経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
		埼玉学園大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	経営学研究科 経営学専攻（D）	25	<p>○ 経済経営学部経済経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 経営学研究科経営学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> <p>改善意見</p>

41	私立	十文字学園女子大学	届出	学部設置	人間生活学部 幼児教育学科 児童教育学科 人間発達心理学科 食物栄養学科 人間福祉学科 生活情報学科 メディアコミュニケーション学 科	23	○ 人間生活学部メディアコミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	人間生活学部 文芸文化学科	27	○ 人間生活学部文芸文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
		十文字学園女子大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	人間生活学研究科 食物栄養学専攻(D)	28	○ 人間生活学研究科食物栄養学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 人間生活学部食物栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見
42	私立	城西大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	薬学研究科 薬学専攻(D)(4年制)	24	○ 同一設置者が設置する既設学部等(理学部数学学科、薬学部薬科学科)の入学定員超過の改善に努めること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等(城西短期大学ビジネス総合学科、城西国際大学国際人文学部国際文化学科、国際交流学科、環境社会学部環境社会学科、観光学部ウエルネスツーリズム学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見  改善意見
43	私立	聖学院大学	届出	学部学科設置	人間福祉学部 こども心理学科	24	○ 人間福祉学部こども心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 人間福祉学部こども心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等(人文学部欧米文化学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見  改善意見  改善意見
44	私立	東京国際大学	届出	学部学科設置	言語コミュニケーション学部 中国言語文化学科	25	○ 言語コミュニケーション学部中国言語文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
45	私立	獨協大学	届出	学部学科設置	経済学部 国際環境経済学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等(姫路獨協大学人間社会学部国際言語文化学類、現代法律学類、産業経営学類、医療保健学部こども保健学科、臨床工学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
46	私立	日本薬科大学	届出	学部学科設置	薬学部 薬学科(6年制)	23	○ 薬学部薬学科(6年制)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等(神戸医療福祉大学社会福祉学部経営福祉ビジネス学科)の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見  改善意見

№	設置者区分	大学名称	認可 又は 届出	設置区分	学部名 専攻科名称	設置年度	是正意見又は改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等（神戸医療福祉大学社会福祉学部健康スポーツコミュニケーション学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
47	私立	植草学園大学	認可	大学設置	発達教育学部 発達支援教育学科 保健医療学部 理学療法学科	20	○ 保健医療学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
48	私立	江戸川大学	認可	学部学科設置	メディアコミュニケーション学部 こどもコミュニケーション学科	26	○ メディアコミュニケーション学部こどもコミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
49	私立	川村学園女子大学	届出	学部学科設置	文学部 日本文学学科	23	○ 文学部日本文学学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	生活創造学部 生活文化学科	23	○ 生活創造学部生活文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	生活創造学部 観光文化学科	23	○ 生活創造学部観光文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	専攻設置又は課程変更	人文科学研究科 教育学専攻（M）	23	○ 同一設置者が設置する既設学部等（文学部国際英語学科、史学科、心理学科、教育学部児童教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	
50	私立	淑徳大学	認可	学部学科設置	看護栄養学部 栄養学科	24	○ 看護栄養学部栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。
			届出	学部設置	経営学部 経営学科 観光経営学科	24	○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
			届出	学部設置	教育学部 こども教育学科	25	○ 経営学部観光経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
			届出	学部設置	人文学部 表現学科 歴史学科	26	○ 教育学部こども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
		認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	28	○ 人文学部歴史学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	
		淑徳大学大学院					

							○ 同一設置者が設置する既設学部等（淑徳大学短期大学部健康福祉学部介護福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
51	私立	城西国際大学	認可	学部学科設置	福祉総合学部 理学療法学科	28	○ 国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
		城西国際大学大学院	届出	研究科設置	国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻（M）	25	○ 福祉総合学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等（城西国際大学理学部数学科、薬学部薬科学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等（国際人文学部国際文化学科、国際交流学科、環境社会学部環境社会学科、観光学部ウェルネスツーリズム学科、城西短期大学ビジネス総合学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
52	私立	聖徳大学	届出	学部設置	心理・福祉学部 心理学科 心理学科（通信教育課程） 社会福祉学科 社会福祉学科（通信教育課程）	24	○ 文学部文学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	文学部 文学科 文学科（通信教育課程）	25	○ 心理・福祉学部心理学科（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 同一設置者が設置する既設学部等（音楽学部演奏学科、聖徳大学短期大学部保育科第二部、総合文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
53	私立	千葉科学大学	届出	学部学科設置	危機管理学部 環境危機管理学科	24	○ 危機管理学部環境危機管理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	危機管理学部 動物危機管理学科	24	○ 同一設置者が設置する既設学部等（薬学部生命薬科学科、危機管理工学部工学技術危機管理学科、倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	26		
54	私立	千葉商科大学	届出	学部設置	人間社会学部 人間社会学科	26	○ 人間社会学部人間社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
55	私立	東京基督教大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	神学研究科 神学専攻（D）	26	○ 神学研究科神学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
56	私立	青山学院大学	届出	学部設置	地球社会共生学部 地球社会共生学科	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等（青山学院女子短期大学現代教養学科日本専攻）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見



NO	設置者 区分	大学名称	認可 又は 届出	設置 区分	学部名、研究科名等	設置 年度	是正意見又は改善意見
57	私立	跡見学園女子大学	認可	学部設置	観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 コミュニティデザイン学科	27	○ 観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
58	私立	嘉悦大学	届出	学部設置	ビジネス創造学部 ビジネス創造学科	24	○ ビジネス創造学部ビジネス創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
		嘉悦大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	ビジネス創造研究科 ビジネス創造専攻(D)	24	○ ビジネス創造研究科ビジネス創造専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
59	私立	恵泉女学園大学	届出	学部学科設置	人間社会学部 社会園芸学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等(人間社会学部現代社会学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
60	私立	國學院大学	届出	学部学科設置	人間開発学部 子ども支援学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等(國學院大学北海道短期大学部幼児・児童教育学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
61	私立	駒澤大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	グローバル・メディア研究科 グローバル・メディア専攻(D)	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等(苫小牧駒澤大学国際文化学部国際文化学科、キャリア創造学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
62	私立	駒沢女子大学	届出	学部学科設置	人文学部 心理学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等(人文学部メディア表現学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
63	私立	上智大学	届出	学部設置	総合グローバル学部 総合グローバル学科	26	○ 実践宗教学研究科死生学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
		上智大学大学院	届出	研究科設置	実践宗教学研究科 死生学専攻(M)	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等(外国語学部ポルトガル語学科)の入学定員超過の改善に努めること。 改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 哲学専攻(M) 哲学専攻(D)	28	
64	私立	白百合女子大学	届出	学部設置	人間総合学部 児童文化学科 発達心理学科 初等教育学科	28	○ 人間総合学部児童文化学科の入学定員超過の改善に努めること。 改善意見
							○ 人間総合学部発達心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等(山台白百合女子大学人間学部人間発達学科、心理福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
65	私立	杉野服飾大学大学院	認可	大学院設置	造形研究科 造形専攻(M)	24	○ 造形研究科造形専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見

66	私立	大正大学	認可	学部設置	地域創生学部 地域創生学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域創生学部地域創生学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>○ 地域創生学部地域創生学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見
67	私立	玉川大学	届出	学部設置	観光学部 観光学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（工学部ソフトウェアサイエンス学科、マネジメントサイエンス学科）の入学定員超過の改善に努めること。</li> </ul>	改善意見
			届出	学部学科設置	芸術学部 メディア・デザイン学科	26		
			届出	学部学科設置	芸術学部 芸術教育学科	26		
			届出	学部学科設置	文学部 英語教育学科	27		
			届出	学部学科設置	工学部 エンジニアリングデザイン学科	27		
		届出	研究科設置	脳科学研究科 心の科学専攻（M） 脳科学専攻（D）	26			
68	私立	帝京大学	届出	学部学科設置	経済学部 地域経済学科	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 経済学部地域経済学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>○ 経済学部地域経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ 福岡医療技術学部医療技術学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ 文学研究科日本史・文化財学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ 経済学研究科地域経済政策学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ 福岡医療技術学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 福岡医療技術学部診療放射線学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見 改善意見 改善意見 改善意見 改善意見
			届出	学部設置	教育学部 教育文化学科 初等教育学科	24		
			届出	学部学科設置	福岡医療技術学部 看護学科	26		
			届出	学部学科設置	福岡医療技術学部 診療放射線学科	26		
			届出	学部学科設置	福岡医療技術学部 医療技術学科	27		
		届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 日本史・文化財学専攻（D）	24			
		届出	専攻設置又は課程変更	公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻（D）	26			
		帝京大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 日本史・文化財学専攻（D）	24		改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	公衆衛生学研究科 公衆衛生学専攻（D）	26		改善意見

NO	設置区分	大学名称	認可 又は 届出	設置区分	学部名・研究科名等	標準 定員	是正意見又は対応意見
			届出	専攻設置又は課程変更	経済学研究科 地域経済政策学専攻 (M)	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等（理工学部機械・精密システム工学科、航空宇宙工学科、情報電子工学科、帝京大学短期大学人間文化学科、現代ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	専攻設置又は課程変更	医学研究科 医学専攻 (D)	28	
69	私立	帝京科学大学	認可	学部学科設置	医療科学部 医療福祉学科	28	○ 医療科学部医療福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	こども学部 学校教育学科 小学校コース 中高理科コース 中高保健体育コース	28	○ こども学部学校教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
70	私立	帝京平成大学	届出	学部学科設置	現代ライフ学部 観光経営学科	25	○ 現代ライフ学部観光経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。
		帝京平成大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	健康科学研究科 病院前救急医療学専攻 (M)	26	○ 健康科学研究科病院前救急医療学専攻 (M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。
71	私立	東海大学	届出	学部学科設置	海洋学部 航海工学科 航海学専攻 海洋機械工学専攻	23	○ 国際文化学部デザイン文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部学科設置	国際文化学部 デザイン文化学科	24	○ 経営学部観光ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	経営学部 経営学科 観光ビジネス学科	25	○ 基盤工学部電気電子情報工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
			届出	学部設置	基盤工学部 電気電子情報工学科 医療福祉工学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等（東海大学福岡短期大学情報処理学科、国際文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
		届出	専攻設置又は課程変更	海洋学研究科 海洋学専攻 (M)	27		
		届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 電気電子工学専攻 (M)	28		
		届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 応用理化学専攻 (M)	28		
		届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 建築土木工学専攻 (M)	28		
届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 機械工学専攻 (M)	28				

72	私立	東京有明医療大学大学院	認可	大学院設置	保健医療学研究科 保健医療学専攻 (M) 看護学研究科 看護学専攻 (M)	25	○ 保健医療学研究科保健医療学専攻 (M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	専攻設置又は課程変更	保健医療学研究科 保健医療学専攻 (D)	27	○ 保健医療学研究科保健医療学専攻 (D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等 (保健医療学部鍼灸学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
73	私立	東京医療学院大学	認可	大学設置	保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	24	○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			認可	学部学科設置	保健医療学部 看護学科	28	○ 保健医療学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
74	私立	東京医療保健大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻 (D)	26	○ 学生が予見性を持って計画的な学修ができるよう、博士論文の審査までにどのような要件を課すのか、学生に対して事前に周知すること。(看護学研究科看護学専攻 (D)) ○ 授業改善およびハラスメント等の防止のため、匿名性に留意しつつ学生の意見を聞く仕組みを構築すること。(看護学研究科看護学専攻 (D))	改善意見 改善意見
75	私立	東京純心大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 看護学部看護学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
76	私立	東京電機大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	理工学研究科 建築・都市環境学専攻 (M)	25	○ 理工学研究科建築・都市環境学専攻 (M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
77	私立	東京富士大学	届出	学部学科設置	経営学部 イベントプロデュース学科	25	○ 経営学部イベントプロデュース学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等 (経営学部経営学科、経営心理学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
78	私立	東京未来大学	届出	学部設置	モチベーション行動科学部 モチベーション行動科学科	24	○ モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
79	私立	東京理科大学	届出	学部学科設置	工学部 情報工学科	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (諏訪東京理科大学経営情報学部経営情報学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	経営学部 ビジネスエレクトロニクス学科	28		

No	設置者 区分	大学名称	届出 又 届出	届出区分	学部名称・(併設)学科等	開学 年度	是正意見又相違点の意見	
80	私立	東洋大学	届出	学部設置	食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 スポーツ・食品機能専攻 健康栄養学科	25	○ 食環境科学部健康栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
		東洋大学大学院	届出	研究科設置	食環境科学研究科 食環境科学専攻 (M)	28	○ 食環境科学研究科食環境科学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
81	私立	東洋学園大学	届出	学部設置	グローバル・コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション学科 英語コミュニケーション学科	25	○ グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
82	私立	日本大学	届出	学部学科設置	文理学部 社会福祉学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等(第二部法学部法律学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	理工学部 まちづくり工学科	25		
			届出	学部学科設置	理工学部 応用情報工学科	25		
			届出	学部学科設置	生物資源科学部 くらしの生物学科	27		
			届出	学部設置	スポーツ科学部 競技スポーツ学科	28		
			届出	学部設置	危機管理学部 危機管理学科	28		
83	私立	日本体育大学	届出	学部設置	児童スポーツ教育学部 児童スポーツ教育学科 児童スポーツ教育コース 幼児教育保育コース	25	○ 児童スポーツ教育学部児童スポーツ教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	学部設置	保健医療学部 回復医療学科 救急医療学科	26	○ 保健医療学部回復医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 保健医療学部救急医療学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見
84	私立	文京学院大学	届出	学部学科設置	保健医療技術学部 看護学科	26	○ 同一設置者が設置する既設学部等(人間学部コミュニケーション社会学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
85	私立	法政大学大学院	届出	研究科設置	公共政策研究科 公共政策学専攻 (D)	24	○ 公共政策研究科公共政策学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見

			届出	研究科設置	理工学研究科 機械工学専攻 (M) 機械工学専攻 (D) 電気電子工学専攻 (M) 電気電子工学専攻 (D) 応用情報工学専攻 (M) 応用情報工学専攻 (D) システム理工学専攻 (M) システム理工学専攻 (D) 応用化学専攻 (M) 応用化学専攻 (D) 生命機能学専攻 (M) 生命機能学専攻 (D)	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理工学研究科機械工学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 理工学研究科機械工学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 理工学研究科電気電子工学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 理工学研究科電気電子工学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 理工学研究科システム理工学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 理工学研究科システム理工学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 理工学研究科応用化学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 理工学研究科応用化学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
86	私立	武蔵大学	届出	学部学科設置	人文学部 英語英米文化学科	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人文学部英語英米文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
87	私立	武蔵野大学	届出	学部設置	法学部 法律学科 政治学科	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 法学部法律学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
			届出	学部設置	工学部 環境システム学科 数理工学科 建築デザイン学科	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 工学部環境システム学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
			届出	学部設置	グローバル学部 グローバルコミュニケーション学科 日本語コミュニケーション学科 グローバルビジネス学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グローバル学部グローバルビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見

NO	設置区分	大学名等	認可 又は 届出	設置区分	学部名・研究科名等	定員 総数	定員見直し 又は 新規増設見	改善意見
		武蔵野大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	政治経済学研究科 政治経済学専攻 (D)	25	○ 政治経済学研究科政治経済学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	研究科設置	仏教学研究科 仏教学専攻 (D)	25	○ 仏教学研究科仏教学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
88	私立	ヤマザキ学園大学	認可	大学設置	動物看護学部 動物看護学科	22	○ 動物看護学部動物看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
89	私立	関東学院大学	届出	学部設置	建築・環境学部 建築・環境学科	25	○ 建築・環境学部建築・環境学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	社会学部 現代社会学科	27	○ 社会学部現代社会学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	人間共生学部 コミュニケーション学科 共生デザイン学科	28	○ 人間共生学部共生デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
90	私立	相模女子大学	認可	学部学科設置	学芸学部 生活デザイン学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (学芸学部英語文化コミュニケーション学科、メディア情報学科、人間社会学部社会マネジメント学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
91	私立	松蔭大学	届出	学部学科設置	経営文化学部 経営法学科	24	○ 経営文化学部経営法学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	コミュニケーション文化学部 生活心理学科	24	○ コミュニケーション文化学部生活心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	観光メディア文化学部 メディア情報文化学科	25	○ 観光メディア文化学部メディア情報文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	経営文化学部 金融経済学科	25	○ 経営文化学部金融経済学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	コミュニケーション文化学部 日本文化コミュニケーション学科	25	○ コミュニケーション文化学部日本文化コミュニケーション学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 看護学部看護学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							○ 経営文化学部経営法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見

						<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観光メディア文化学部メディア情報文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ 経営文化学部金融経済学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ コミュニケーション文化学部生活心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（経営文化学部ビジネスマネジメント学科、コミュニケーション文化学部異文化コミュニケーション学科、観光メディア文化学部観光文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見	
92	私立	湘南医療大学	認可	大学設置	保健医療学部 看護学科 リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
93	私立	昭和音楽大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	音楽研究科 音楽芸術専攻（D）	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音楽研究科音楽芸術専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（音楽学部器楽学科）の入学定員超過の改善に努めること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（音楽学部作曲学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見
94	私立	星槎大学大学院	認可	大学院設置	教育学研究科 教育学専攻（M）（通信教育課程）	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（共生科学部共生科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見
95	私立	横浜創英大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科 こども教育学部 幼児教育学科	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設置計画履行状況報告書に依然として多数の誤りがあり、設置計画の履行状況を正しく把握することが困難である。単に相互チェック体制を構築するだけでなく、本質的な改善に結びつく方を検討し、すみやかに導入すること。（看護学部看護学科、こども教育学部幼児教育学科）</li> </ul>	改善意見
		横浜創英大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教員が大幅に入れ替わった結果、前任者から学生の指導内容に関する引継ぎが十分にできていない。また、当初開講予定であった科目が開講されなくなるなど授業の実施に支障をきたしていることから、教育課程の実施可能性を精査し、十分な見直しを持って教育を実施すること。（看護学部看護学科、こども教育学部幼児教育学科）</li> </ul>	改善意見



NO	設置区分	大学名称	意向 又は 届出	設置区分	学部名・研究科名称	定員 年度	適正意見 又は 改善意見
							<p>○平成26年度末に辞任した多くの教員の後任補充は一定程度なされたものの、精神看護学など未だ分野によっては不十分などがある。このため、教育研究の継続性を踏まえた適切な教員組織の構築に更に努めること。(看護学部看護学科)</p> <p>○こども教育学部幼児教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>○看護学研究科看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
96	私立	横浜薬科大学	認可	大学設置	薬学部 健康薬学科(6年制) 漢方薬学科(6年制) 臨床薬学科(6年制)	18	○薬学部臨床薬学科(6年制)の入学定員超過の改善に努めること。
			届出	学部学科設置	薬学部 薬科学科	27	○薬学部薬科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
97	私立	新潟医療福祉大学	届出	学部学科設置	医療技術学部 視機能科学科	26	○教員1人当たりの担当授業科目数が多いこと、科目負担に偏りがあることについて未だ十分な改善には至っていないため、今後の専任教員等の採用計画を示し、具体的な改善計画を示すこと。(医療技術学部視機能科学科)
		新潟医療福祉大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	医療福祉学研究科 医療情報・経営管理学専攻(M)	26	○医療福祉学研究科医療情報・経営管理学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
98	私立	新潟経営大学	届出	学部設置	観光経営学部 観光経営学科	28	○観光経営学部観光経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
99	私立	新潟工科大学	届出	学部学科設置	工学部 工学科	27	○工学部工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
100	私立	新潟薬科大学	届出	学部学科設置	応用生命科学部 生命産業創造学科	27	○応用生命科学部生命産業創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
101	私立	高岡法科大学	届出	学部学科設置	法学部 法学科	28	○法学部法学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
102	私立	金沢学院大学	届出	学部学科設置	文学部 文学科	27	○人間健康学部健康栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。
			認可	学部学科設置	人間健康学部 健康栄養学科	28	○芸術学部芸術学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
			届出	学部設置	芸術学部 芸術学科	28	○経営情報学部経営情報学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。

			届出	学部学科設置	経営情報学部 経営情報学科	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等（金沢学院短期大学現代教養学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
		金沢学院大学大学院	認可	研究科設置	スポーツ健康学研究科 スポーツ健康学専攻（M）	27		
103	私立	金沢工業大学	届出	学部学科設置	工学部 情報工学科	24	○ イノベーションマネジメント研究科イノベーションマネジメント専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
		金沢工業大学大学院	認可	研究科設置	イノベーションマネジメント研究科 イノベーションマネジメント専攻（M）	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等（環境・建築学部建築デザイン学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
104	私立	金沢星稜大学	認可	学部設置	人文学部 国際文化学科	28	○ 人文学部国際文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 人文学部国際文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見
105	私立	金城大学	届出	学部学科設置	医療健康学部 作業療法学科	25	○ 医療健康学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
		金城大学大学院	認可	大学院設置	リハビリテーション学研究科 リハビリテーション学専攻（M）	27	○ リハビリテーション学研究科リハビリテーション学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
106	私立	北陸学院大学	届出	学部学科設置	人間総合学部 社会学科	24	○ 人間総合学部社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
107	私立	福井工業大学	届出	学部学科設置	工学部 建築土木工学科	24	○ 環境情報学部経営情報学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
			認可	学部設置	スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科	27	○ スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			届出	学部設置	環境情報学部 環境・食品科学科 経営情報学科 デザイン学科	27	○ 環境情報学部環境・食品科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
		福井工業大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	工学研究科 応用理工学専攻（M） 応用理工学専攻（D）	24	○ 工学研究科応用理工学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。  ○ 工学研究科応用理工学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見  改善意見

NO	設置者 区分	大学名称	認可 又は 届出	設置区分	学部等・研究科名称等	開設 年度	是正措置又は改善の意見
							<p>○ 工学部建築土木工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 環境情報学部デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p>
108	私立	健康科学大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	28	<p>○ 看護学部看護学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（健康科学部理学療法学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（健康科学部福祉心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
109	私立	山梨学院大学	認可	学部設置	国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科	27	<p>○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p>
110	私立	佐久大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	24	<p>○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（佐久大学信州短期大学部福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
111	私立	諏訪東京理科大学	届出	学部設置	工学部 機械工学科 電気電子工学科 コンピュータメディア工学科	26	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（経営情報学部経営情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
112	私立	長野保健医療大学	認可	大学設置	保健科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 作業療法学専攻	27	<p>○ 保健科学部リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p>
113	私立	朝日大学	認可	学部設置	保健医療学部 看護学科	26	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（経営学部経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
114	私立	岐阜医療科学大学大学院	認可	大学院設置	保健医療学研究科 保健医療学専攻（M）	28	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（中日本自動車短期大学モータースポーツエンジニアリング学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>改善意見</p>
115	私立	中部学院大学	届出	学部学科設置	看護リハビリテーション学部 看護学科	26	<p>○ 看護リハビリテーション学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>改善意見</p>

116	私立	東海学院大学	届出	学部学科設置	健康福祉学部 管理栄養学科	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉学部管理栄養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>健康福祉学部管理栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>同一設置者が設置する既設学部等（健康福祉学部総合福祉学科、人間関係学部心理学科、子ども発達学科、東海学院大学短期大学部幼児教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見 改善意見
117	私立	静岡福祉大学	認可	学部設置	子ども学部 子ども学科	27	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども学部子ども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見
118	私立	聖隷クリストファー大学 聖隷クリストファー大学大学院	届出	学部学科設置	社会福祉学部 介護福祉学科	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉学部介護福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	社会福祉学研究科 社会福祉学専攻（D）	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉学研究科社会福祉学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> </ul>	改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護学研究科看護学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
119	私立	常葉大学	認可	学部設置	法学部 法律学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>法学部法律学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
			認可	学部設置	健康科学部 看護学科 静岡理学療法学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康科学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見
			認可	学部設置	健康プロデュース学部 健康栄養学科 子ども健康学科 心身マネジメント学科 健康鍼灸学科 健康柔道整備学科	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一設置者が設置する既設学部等（常葉大学短期大学部音楽科、英語英文科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見
			認可	学部設置	保健医療学部 理学療法学科 作業療法学科	25		
			認可	学部設置	社会環境学部 社会環境学科	25		
			認可	学部設置	保育学部 保育学科	25		
			認可	学部設置	経営学部 経営学科	25		
120	私立	愛知淑徳大学大学院	届出	研究科設置	文化創造研究科 文化創造専攻（D）	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化創造研究科文化創造専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> </ul>	改善意見

NO	設置区分	大学名称	認可 文庫 届出	設置区分	学部等・研究科名称	関係 年度	是正事項及補正事項	
			届出	研究科設置	心理医療科学研究科 心理医療科学専攻 (D)	25	○ 心理医療科学研究科心理医療科学専攻 (D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
121	私立	愛知東邦大学	届出	学部設置	教育学部 子ども発達学科	26	○ 経営学部国際ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	経営学部 国際ビジネス学科	28	○ 教育学部子ども発達学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 経営学部国際ビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見
122	私立	岡崎女子大学	認可	大学設置	子ども教育学部 子ども教育学科	25	○ 子ども教育学部子ども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
123	私立	修文大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	28	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
124	私立	同朋大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	人間福祉研究科 臨床心理学専攻 (M)	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (文学部仏教学科、名古屋音楽大学音楽学部音楽学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
125	私立	豊橋創造大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科	24	○ 経営学部経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等 (豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見  改善意見
126	私立	名古屋学院大学	認可	学部学科設置	スポーツ健康学部 子どもスポーツ教育学科	27	○ スポーツ健康学部子どもスポーツ教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	国際文化学部 国際文化学科 国際協力学科	27	○ 国際文化学部国際協力学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
127	私立	名古屋商科大学	届出	学部学科設置	経済学部 総合政策学科	26	○ 経済学部総合政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等 (商学部マーケティング学科、会計ファイナンス学科、経済学部経済学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見  改善意見
128	私立	日本福祉大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (経済学部経済学科、国際福祉開発学部国際福祉開発学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

129	私立	人間環境大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	27	○ 看護学研究所看護学専攻(D)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
		人間環境大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻(M) 看護学専攻(D)	27	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ○ 看護学研究所看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見
130	私立	藤田保健衛生大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	保健学研究科 医療科学専攻(D)	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等(医療科学部リハビリテーション学科)の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
131	私立	鈴鹿医療科学大学	届出	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
132	私立	四日市大学	届出	学部学科設置	経済学部 経済経営学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等(環境情報学部環境情報学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
133	私立	聖泉大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻(M)	27	○ 看護学研究所看護学専攻(M)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(人間学部人間心理学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
134	私立	びわこ学院大学	届出	学部学科設置	教育福祉学部 スポーツ教育学科	26	○ 教育福祉学部スポーツ教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(びわこ学院大学短期大学部ライフデザイン学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
135	私立	びわこ成蹊スポーツ大学	届出	学部学科設置	スポーツ学部 スポーツ学科	27	○ 提出書類について組織的なチェック体制を構築し、ミスの根絶を図っていることだが、今年度の報告書においても多数の不備があるため、再度チェック体制を見直すこと。(スポーツ学部スポーツ学科)	改善意見
136	私立	大谷大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 教育・心理学専攻(M)	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等(文学部社会学科)の入学定員超過の改善に努めること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等(文学部仏教学科、大谷大学短期大学部仏教科、九州大谷大学短期大学福祉学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見

NO	設置者 区分	大学名称	認可 又は 届出	設置区分	学部等・研究科名称	開 校 年 度	是正意見又は改善意見	
137	私立	京都学園大学	認可	学部設置	健康医療学部 看護学科 言語聴覚学科 健康スポーツ学科	27	○ 人文学部心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	経済経営学部 経済学科 経営学科	27	○ 健康医療学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			届出	学部設置	人文学部 心理学科 歴史文化学科	27	○ 健康医療学部言語聴覚学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	バイオ環境学部 食農学科	27	○ 経済経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ バイオ環境学部食農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見
138	私立	京都華頂大学	認可	大学設置	現代家政学部 現代家政学科	23	○ 同一設置者が設置する既設学部等（佛教学部中国学科）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
			届出	学部学科設置	現代家政学部 食物栄養学科	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等（華頂短期大学歴史学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
139	私立	京都光華女子大学	認可	学部学科設置	健康科学部 看護学科	23	○ 健康科学部心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	健康科学部 心理学科	26	○ 看護学研究科看護学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	健康科学部 医療福祉学科 社会福祉専攻 言語聴覚専攻	26	○ 同一設置者が設置する既設学部等（キャリア形成学部キャリア形成学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	学部設置	こども教育学部 こども教育学科	27		
		認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	27			
140	私立	京都精華大学	届出	学部設置	ポピュラーカルチャー学部 ポピュラーカルチャー学科	25	○ ポピュラーカルチャー学部ポピュラーカルチャー学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	デザイン学部 イラスト学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等（芸術学部素材表現学科、人文学部総合人文学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

141	私立	京都造形芸術大学	届出	学部学科設置	芸術学部 文芸表現学科	23	○ 大規模な定員超過は、教員への過度の負担を強いるとともに、教育の質の低下を招く原因となることから、入学者選抜方法も含めて定員超過の原因を分析し、学生の教育環境及び教育の質を確保するために、大学が自ら定めた定員の適正な管理に努めること。(芸術学部キャラクターデザイン学科、文芸表現学科、アートプロデュース学科)	改善意見		
			届出	学部学科設置	芸術学部 芸術教養学科(通信教育課程)	25			○ 同一設置者が設置する既設学部等(芸術学部舞台芸術学科)の入学生定員超過の改善に努めること。	改善意見
			認可	収容定員増	芸術学部 キャラクターデザイン学科 文芸表現学科 アートプロデュース学科	26				
			届出	専攻設置又は課程変更	芸術研究科 芸術専攻(M)	27				
142	私立	京都橘大学	認可	学部学科設置	健康科学部 救急救命学科	28	○ 健康科学部救急救命学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見		
			届出	専攻設置又は課程変更	健康科学部 救急救命学科	28				
143	私立	京都美術工芸大学	認可	大学設置	工芸学部 伝統工芸学科	24	○ 工芸学部建築学科の入学生定員超過の改善に努めること。	改善意見		
			届出	学部学科設置	工芸学部 建築学科	28			○ 工芸学部伝統工芸学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
144	私立	同志社女子大学大学院	認可	研究科設置	薬学研究科 医療薬学専攻(D)(4年制)	24	○ 薬学研究科医療薬学専攻(D)(4年制)において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見		
			届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 文学専攻(M) 文学専攻(M)(通信教育課程) 文学専攻(D)	27			○ 同一設置者が設置する既設学部等(文学部中国学科)の入学生定員超過の改善に努めること。	改善意見
145	私立	佛教大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 仏教学専攻(M) 仏教学専攻(M)(通信教育課程) 仏教学専攻(D) 仏教学専攻(D)(通信教育課程)	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等(華頂短期大学歴史学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学生定員の見直しについて検討すること。			
			届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 歴史学専攻(M) 歴史学専攻(M)(通信教育課程) 歴史学専攻(D) 歴史学専攻(D)(通信教育課程)	27				
			届出	専攻設置又は課程変更	文学研究科 歴史学専攻(M) 歴史学専攻(M)(通信教育課程) 歴史学専攻(D) 歴史学専攻(D)(通信教育課程)	27				
146	私立	龍谷大学	認可	学部設置	農学部 植物生命科学科 資源生物科学科 食品栄養学科 食料農業システム学科	27	○ 農学部植物生命科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見		
			届出	専攻設置又は課程変更	農学部 植物生命科学科 資源生物科学科 食品栄養学科 食料農業システム学科	27			○ 農学部食品栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	



NO	設置区分	大学名称	設置区分	学部名称	設置区分	設置年度	是正項目及改善事項
147	私立	追手門学院大学	届出	学部設置 地域創造学部 地域創造学科		27	○ 地域創造学部地域創造学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
148	私立	大阪青山大学	認可	学部学科設置 健康科学部 看護学科		27	○ 健康科学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
149	私立	大阪観光学大学	認可	学部設置 国際交流学部 国際交流学科		25	○ 国際交流学部国際交流学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見 ○ 国際交流学部国際交流学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
150	私立	大阪経済法科大学	届出	学部学科設置 経済学部 経営学科		26	○ 経済学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
		大阪経済法科大学大学院	認可	大学院設置 経済学研究科 経済学専攻 (M)		27	○ 経済学研究科経済学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
151	私立	大阪国際大学	届出	学部設置 グローバルビジネス学部 グローバルビジネス学科		26	○ グローバルビジネス学部グローバルビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
			届出	学部設置 国際教養学部 国際コミュニケーション学科 国際観光学科		27	○ 国際教養学部国際観光学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
152	私立	大阪樟蔭女子大学	届出	学部学科設置 学芸学部 国際英語学科		22	○ 学芸学部国際英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
			届出	学部設置 健康栄養学部 健康栄養学科 管理栄養士専攻 食物栄養専攻		27	○ 人間科学研究科化粧ファッション学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
			届出	学部学科設置 学芸学部 心理学科		27	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (学芸学部国文学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
		大阪樟蔭女子大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更 人間科学研究科 化粧ファッション学専攻 (M)		25	
153	私立	大阪女学院大学大学院	認可	大学院設置 21世紀国際共生研究科 平和・人権システム専攻 (D)		21	○ 21世紀国際共生研究科平和・人権システム専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
154	私立	大阪総合保育大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更 児童保育研究科 児童保育専攻 (D)		24	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (大阪城南女子短期大学現代生活学科、人間福祉学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見

155	私立	大阪体育大学	認可	学部設置	教育学部 教育学科 小学校教育コース 保健体育教育コース	27	○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
156	私立	大阪人間科学大学	届出	学部学科設置	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻 視能訓練専攻	24	○ 人間科学部医療福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	人間科学部 子ども福祉学科	24	○ 人間科学部子ども福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	学部学科設置	人間科学部 理学療法学科	28	○ 人間科学部医療福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 人間科学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部社会福祉学科、健康心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見 改善意見
157	私立	大阪行岡医療大学	認可	大学設置	医療学部 理学療法学科	24	○ 医療学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
158	私立	関西大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	人間健康研究科 人間健康専攻 (D)	28	○ 人間健康研究科人間健康専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
159	私立	関西医療大学	届出	学部学科設置	保健医療学部 臨床検査学科	25	○ 保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
160	私立	関西福祉科学大学	認可	学部設置	教育学部 教育学科 子ども教育専攻 発達支援教育専攻	28	○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
161	私立	摂南大学大学院	届出	研究科設置	経済経営学研究科 経済学専攻 (M) 経営学専攻 (M)	26	○ 同一設置者が設置する既設学部等（広島国際大学医療経営学部医療経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻 (M)	28		
			認可	専攻設置又は課程変更	理工学研究科 生命科学専攻 (D)	28		
162	私立	相愛大学	届出	学部学科設置	音楽学部 音楽マネジメント学科	23	○ 音楽学部音楽マネジメント学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

NO	設置者区分	大学名称	届出又は届出	設置区分	学部名・研究科名等	標準年度	是正意見又は改善意見
			届出	学部学科設置	人文学部 人文学科	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等（音楽学部音楽学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
163	私立	太成学院大学	届出	学部学科設置	人間学部 子ども発達学科	24	○ 履修モデルコースである「福祉心理コース」に、福祉を体系的に学修できるように福祉系科目を追加した場合、履修モデルに反映させるとともに、学生が適切に福祉分野の学修ができるよう履修指導を行うこと。（人間学部心理カウンセリング学科）改善意見
			届出	学部学科設置	人間学部 健康スポーツ学科	24	○ 人間学部子ども発達学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
			届出	学部学科設置	人間学部 心理カウンセリング学科	24	○ 人間学部心理カウンセリング学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（経営学部現代ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
164	私立	帝塚山学院大学	届出	学部学科設置	人間科学部 キャリア英語学科	27	○ 人間科学部キャリア英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科、人間科学部情報メディア学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
165	私立	梅花女子大学	認可	学部設置	食文化学部 食文化学科	24	○ 食文化学部食文化学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。改善意見
			認可	学部学科設置	看護保健学部 口腔保健学科	27	○ 看護保健学部口腔保健学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。改善意見
166	私立	東大阪大学	届出	学部学科設置	こども学部 アジアこども学科	23	○ こども学部アジアこども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見 ○ こども学部アジアこども学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。改善意見 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（東大阪大学短期大学部実践食物学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。改善意見
167	私立	森ノ宮医療大学	届出	学部学科設置	保健医療学部 作業療法学科	28	○ 保健医療学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。改善意見
			届出	学部学科設置	保健医療学部 臨床検査学科	28	○ 保健医療学部臨床検査学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。改善意見

168	私立	大和大学	認可	大学設置	教育学部 教育学科 初等幼児教育専攻 国語教育専攻 数学教育専攻 英語教育専攻 保健医療学部 看護学科 総合リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚専攻	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 設置時と比較して、専任教員が大幅に減少していることは、計画が適切に履行されているとは言いがたい。兼任教員の配置等で教育研究上の支障は生じていないとのことだが、教育の質や教員の負担等の観点から専任教員の充実など、適切な教員組織を編成すること。（教育学部教育学科）</li> </ul>	改善意見
			認可	学部設置	政治経済学部 政治行政学科 経済経営学科	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「基礎セミナーⅠ、Ⅱ」はシラバスが作成されておらず、授業計画は別紙として配布されているが、別紙の内容では、各回の授業内容や成績評価方法等の必要な情報が提示されていないことから、シラバスを作成する等、学生に対して適切な情報提供を行うこと。（教育学部教育学科）</li> <li>○ 開設以降、辞任等による教員の変更が多い状況が継続している。一定程度の後任補充はなされているが、臨地実習への対応なども考慮すると教育の継続性を担保する必要がある。教員組織の将来構想を策定するなど、計画的な教員組織編成となるよう努めること。（保健医療学部看護学科）</li> <li>○ 入学定員が著しく超過していることについて、定員超過の要因の分析し、定員管理のための方策を策定するなど、入学定員の厳格な管理に努めること。（保健医療学部総合リハビリテーション学科理学療法専攻）</li> <li>○ 保健医療学部看護学科の入学定員超過の改善に努めること。</li> <li>○ 政治経済学部政治行政学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> <li>○ 教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>○ 保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 保健医療学部総合リハビリテーション学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 政治経済学部政治行政学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 政治経済学部経済経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（白鳳短期大学総合人間学科（3年制）看護学専攻）の入学定員超過の改善に努めること。</li> <li>○ 同一設置者が設置する既設学部等（白鳳短期大学総合人間学科（2年制）こども教育専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</li> </ul>	改善意見 改善意見 改善意見 改善意見 改善意見 改善意見 改善意見 改善意見 改善意見

NO	設置者 区分	大学名称	設置 文庫 届出	設置区分	学部名、研究科名等	設置 年度	是正意見及改善意見
169	私立	大手前大学	認可	学部設置	健康栄養学部 管理栄養学科	28	○健康栄養学部管理栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
170	私立	関西看護医療大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻 (M)	25	○看護学研究科看護学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
171	私立	関西国際大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻 (M)	27	○看護学研究科看護学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見
172	私立	関西福祉大学	認可	学部設置	発達教育学部 児童教育学科	26	○発達教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 改善意見
173	私立	甲子園大学	届出	学部学科設置	心理学部 現代応用心理学科	23	○心理学部現代応用心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見 ○同一設置者が設置する既設学部等(栄養学部フードデザイン学科、甲子園短期大学生活環境学科生活環境専攻、介護福祉専攻、幼児教育保育学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見
174	私立	神戸医療福祉大学	届出	学部学科設置	社会福祉学部 社会福祉学科	25	○必修の専門科目で主要な科目である「障害者福祉論Ⅰ」、「ソーシャルワーク総論」については、現在専任教員が担当しておらず、大学設置基準10条に抵触しているため、早急に専任教員を配置すること。(社会福祉学部社会福祉学科) 改善意見 ○当初39人の専任教員を配置する計画であったが、完成年度において25人の専任教員しか配置されていない。当初計画よりも教員が少ないこと、国家試験対策等、担当科目の授業以外にも教員が携わる業務があり、負担がかかっていることが懸念されることから、適切な教員組織となっているかについて十分検討し、その結果を報告すること。また、必要に応じて教員を補充すること。(社会福祉学部社会福祉学科) 改善意見 ○学生が集まっていないことに対して入学定員の変更や学生確保に向けた様々な取り組みを行っていることは認められるが、実効性のある取り組みとなっているのかについて懸念がある。原因分析を十分に行った上で、それに見合った対策を行うこと。(社会福祉学部社会福祉学科) 改善意見 ○社会福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見 ○社会福祉学部社会福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 改善意見 ○同一設置者が設置する既設学部等(第一薬科大学薬学部漢方薬学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 改善意見

175	私立	神戸芸術工科大学	届出	学部設置	芸術工学部 環境デザイン学科 プロダクト・インテリアデザイン学科 ファッションデザイン学科 ビジュアルデザイン学科 まんが表現学科 映像表現学科 アート・クラフト学科	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等（大阪女子短期大学生活科学科ライフプロデュース専攻）の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
		神戸芸術工科大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	芸術工学研究科 総合アート&デザイン専攻(M)	27		
176	私立	神戸松蔭女子学院大学	届出	学部学科設置	文学部 英語学科	23	○ 文学部英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等（文学部日本語日本文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見  改善意見
177	私立	神戸山手大学	届出	学部学科設置	現代社会学部 総合社会学科	25	○ 現代社会学部総合社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	現代社会学部 観光文化学科	27	○ 現代社会学部観光文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
178	私立	宝塚医療大学	認可	大学設置	保健医療学部 理学療法学科 柔道整復学科 鍼灸学科	23	○ 保健医療学部鍼灸学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 保健医療学部柔道整復学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 保健医療学部鍼灸学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見  改善意見
179	私立	姫路獨協大学	認可	学部設置	看護学部 看護学科	28	○ 人間社会学群国際言語文化学類の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	人間社会学群 国際言語文化学類 現代法律学類 産業経営学類	28	○ 人間社会学群現代法律学類の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 人間社会学群産業経営学類の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 人間社会学群国際言語文化学類において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 人間社会学群産業経営学類において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見  改善意見  改善意見

NO	設置者 区分	大学名称	認可 文部 科学 省 届出	設置区分	学部等・研究科等	開校 年度	是正意見又は改善建議
							○ 同一設置者が設置する既設学部等（医療保健学部こども保健学科、臨床工学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
180	私立	兵庫大学	届出	学部学科設置	生涯福祉学部 こども福祉学科	25	○ 現代ビジネス学部現代ビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。
				届出	学部設置	現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	28
181	私立	流通科学大学	届出	学部設置	人間社会学部 人間社会学科 観光学科 人間健康学科	27	○ 人間社会学部人間健康学科の入学定員超過の改善に努めること。
				届出	学部学科設置	商学部 マーケティング学科	27
182	私立	畿央大学大学院	認可	研究科設置	教育学研究科 教育実践学専攻（M）	26	○ 教育学研究科教育実践学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
183	私立	帝塚山大学	届出	学部学科設置	文学部 文化創造学科	26	○ 文学部文化創造学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 文学部文化創造学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。
184	私立	天理大学大学院	認可	研究科設置	体育学研究科 体育学専攻（M）	27	○ 体育学研究科体育学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
185	私立	奈良学園大学	認可	学部設置	人間教育学部 人間教育学科	26	○ 人間教育学部人間教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。
186	私立	高野山大学	届出	学部学科設置	文学部 人間学科	27	○ 文学部人間学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。  ○ 同一設置者が設置する既設学部等（文学部密教学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。

187	私立	鳥取看護大学	認可	大学設置	看護学部 看護学科	27	○看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
188	私立	岡山理科大学	認可	学部設置	教育学部 初等教育学科 中等教育学科	28	○教育学部初等教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
		岡山理科大学大学院	届出	研究科設置	生物地球科学研究科 生物地球科学専攻 (M)	28	○教育学部中等教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○同一設置者が設置する既設学部等（倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部環境危機管理学科、工学技術危機管理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
189	私立	環太平洋大学	認可	学部設置	経営学部 現代経営学科	28	○経営学部現代経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
190	私立	吉備国際大学	届出	学部学科設置	保健医療福祉学部 社会福祉学科	23	○保健医療福祉学部社会福祉学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	通信開設	心理学部 子ども発達教育学科（通信教育課程）	24	○社会科学部経営社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	学部設置	地域創成農学部 地域創成農学科	25	○外国語学部外国学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	社会科学部 経営社会学科	25	○アニメーション文化学部アニメーション文化学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	外国語学部 外国学科	26	○心理学部子ども発達教育学科（通信教育課程）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	学部設置	アニメーション文化学部 アニメーション文化学科	26	○地域創成農学部地域創成農学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○同一設置者が設置する既設学部等（保健医療福祉学部理学療法学科）の入学定員超過の改善に努めること。  ○同一設置者が設置する既設学部等（心理学部心理学科、九州保健福祉大学社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部言語聴覚療法学科、視機能療法学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見



No.	設置者 区分	大学名称	認可 又は 届出	設置 区分	学部名、研究科名等	開設 年度	是正意見又は再発防止意見
191	私立	倉敷芸術科学大学	届出	学部学科設置	産業科学技術学部 経営情報学科	23	<p>○ 産業科学技術学部経営情報学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（産業科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部環境危機管理学科、工学技術危機管理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
192	私立	山陽学園大学大学院	認可	大学院設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	25	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（総合人間学部言語文化学科、生活心理学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
193	私立	就実大学	認可	学部設置	経営学部 経営学科	26	<p>○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
194	私立	中国学園大学	認可	学部設置	国際教養学部 国際教養学科	27	<p>○ 国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>○ 国際教養学部国際教養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（中国短期大学総合生活学科、情報ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
195	私立	比治山大学	認可	学部設置	健康栄養学部 管理栄養学科	26	<p>○ 健康栄養学部管理栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
196	私立	広島経済大学	認可	学部学科設置	経済学部 スポーツ経営学科	23	<p>○ 経済学部スポーツ経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（経済学部ビジネス情報学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
197	私立	広島工業大学	届出	学部学科設置	工学部 環境土木工学科	28	<p>○ 工学部環境土木工学科の入学定員超過の改善に努めること。</p> <p>○ 工学部環境土木工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
198	私立	広島国際大学	届出	学部設置	総合リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 言語聴覚療法専攻 リハビリテーション支援学科 義肢装具学専攻 リハビリテーション工学専攻	25	<p>○ 医療栄養学部医療栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>

			届出	学部学科設置	保健医療学部 医療技術学科 臨床工学専攻 臨床検査学専攻 救急救命専攻	25	○ 同一設置者が設置する既設学部等（医療経営学部医療経営学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			認可	学部設置	医療栄養学部 医療栄養学科	26		
			届出	学部設置	心理学部 心理学科	27		
199	私立	広島国際学院大学	届出	学部設置	情報文化学部 情報デザイン学科 現代社会学科	25	○ 情報文化学部現代社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	工学部 生産工学科	25	○ 工学部生産工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
200	私立	広島女学院大学	届出	学部学科設置	国際教養学部 国際教養学科	24	○ 国際教養学部国際教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
201	私立	広島都市学園大学	認可	学部設置	子ども教育学部 子ども教育学科	26	○ 子ども教育学部子ども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							○ 子ども教育学部子ども教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
202	私立	広島文化学園大学	届出	学部学科設置	社会情報学部 グローバルビジネス学科	25	○ 社会情報学部グローバルビジネス学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
		広島文化学園大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	24	○ 看護学研究科看護学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
			認可	研究科設置	教育学研究科 子ども学専攻（M）	26	○ 社会情報学部グローバルビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	専攻設置又は課程変更	教育学研究科 子ども学専攻（D）	28	○ 教育学研究科子ども学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
203	私立	安田女子大学	届出	学部設置	心理学部 心理学科	24	○ 現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
			届出	学部設置	教育学部 児童教育学科	24	○ 教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見

No	設置区分	大学名称	認可 又は 届出	設置区分	学部 研究科	設置年度	是正意見 及 対応措置	
		安田女子大学大学院	認可	学部設置	看護学部 看護学科	26	○ 心理学部心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	現代ビジネス学部 国際観光ビジネス学科	27	○ 看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	研究科設置	薬学研究科 薬学専攻 (D) (4年制)	25	○ 現代ビジネス学部国際観光ビジネス学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			認可	研究科設置	家政学研究科 健康生活学専攻 (M)	25	○ 薬学研究科薬学専攻 (D) (4年制) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。  ○ 家政学研究科健康生活学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見  改善意見
204	私立	東亜大学	届出	学部学科設置	人間科学部 心理臨床・子ども学科	24	○ 人間科学部心理臨床・子ども学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	人間科学部 国際交流学科	24	○ 人間科学部国際交流学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
		東亜大学大学院	届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 臨床心理学専攻 (M) 臨床心理学専攻 (D)	27	○ 総合学術研究科臨床心理学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 人間科学専攻 (M) 人間科学専攻 (D)	27	○ 総合学術研究科臨床心理学専攻 (D) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 デザイン専攻 (M) デザイン専攻 (D)	27	○ 総合学術研究科医療科学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	総合学術研究科 医療科学専攻 (M) 医療科学専攻 (D)	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (医療学部医療工学科、健康栄養学科、芸術学部アート・デザイン学科、トータルビューティ学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
205	私立	四国大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻 (M)	25	○ 看護学研究科看護学専攻 (M) において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見

年度	種別	名称	届出	学部学科設置	学部学科	数	備考	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等（文学部書道文化学科、経営情報学部メディア情報学科、四国大学短期大学部ビジネス・コミュニケーション科、人間健康科食物栄養専攻、介護福祉専攻、音楽科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
206	私立	徳島文理大学	届出	学部学科設置	保健福祉学部 診療放射線学科	24	○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間生活学部人間生活学科、メディアデザイン学科、保健福祉学部人間福祉学科、音楽学部音楽学科、薬学部薬学科（6年制）、文学部日本文学科、英語英米文化学科、文化財学科、理工学部機械創造工学科、ナノ物質工学科、徳島文理大学短期大学部生活科学科生活科学専攻、食物専攻、保育科、言語コミュニケーション学科、音楽科、商科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	保健福祉学部 臨床工学科	24		
		徳島文理大学大学院	認可	研究科設置	看護学研究科 看護学専攻（M）	26		
			認可	研究科設置	総合政策学研究科 総合政策学専攻（M）	28		
			認可	専攻設置又は課程変更	看護学研究科 看護学専攻（D）	28		
207	私立	聖カタリナ大学	届出	学部学科設置	人間健康福祉学部 健康スポーツ学科	26	○ 人間健康福祉学部健康スポーツ学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等（人間健康福祉学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
208	私立	九州栄養福祉大学	認可	学部設置	リハビリテーション学部 理学療法学科 作業療法学科	23	○ リハビリテーション学部理学療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
							○ リハビリテーション学部作業療法学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
209	私立	九州産業大学	届出	学部学科設置	芸術学部 芸術表現学科	28	○ 芸術学部ビジュアルデザイン学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
			届出	学部学科設置	芸術学部 写真・映像メディア学科	28	○ 芸術学部生活環境デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	芸術学部 ビジュアルデザイン学科	28	○ 芸術学部ソーシャルデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	芸術学部 生活環境デザイン学科	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等（商学部第二部商学科、工学部バイオロボティクス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

NO	設置者 区分	大学名称	認可 又 届出	設置区分	学部等・専攻科名称	開校 年度	是正意見及対応措置
			届出	学部学科設置	芸術学部 ソーシャルデザイン学科	28	
210	私立	第一薬科大学	届出	学部学科設置	薬学部 漢方薬学科（6年制）	28	<p>○ 薬学部漢方薬学科（6年制）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>○ 薬学部漢方薬学科（6年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（神戸医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
211	私立	筑紫女学園大学	届出	学部設置	現代社会学部 現代社会学科	27	<p>○ 現代社会学部現代社会学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
212	私立	日本経済大学	届出	学部設置	経営学部 経営学科	26	<p>○ 経営学部経営学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
		日本経済大学大学院	認可	大学院設置	経営学研究科 経営学専攻（M）	24	<p>○ 経営学研究科経営学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
			認可	専攻設置又は課程変更	経営学研究科 経営学専攻（D）	26	<p>○ 経営学研究科経営学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
213	私立	福岡女学院大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	人文科学研究科 発達教育学専攻（M）	27	<p>○ 人文科学研究科発達教育学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
214	私立	保健医療経営大学	認可	大学設置	保健医療経営学部 保健医療経営学科	20	<p>○ 保健医療経営学部保健医療経営学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
215	私立	西九州大学	届出	学部設置	健康栄養学部 健康栄養学科	26	<p>○ 健康福祉学部スポーツ健康福祉学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>
			届出	学部設置	健康福祉学部 スポーツ健康福祉学科	26	<p>○ 子ども学部心理カウンセリング学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>
			認可	学部学科設置	子ども学部 心理カウンセリング学科	26	<p>○ 生活支援科学研究科地域生活支援学専攻（D）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>
		認可	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 地域生活支援学専攻（D）	27	<p>○ 生活支援科学研究科地域生活支援学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>	
		西九州大学大学院	認可	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 地域生活支援学専攻（D）	27	<p>○ 生活支援科学研究科地域生活支援学専攻（M）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>

			認可	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 子ども学専攻 (M)	27	○ 同一設置者が設置する既設学部等 (健康福祉学部社会福祉学科、西九州大学短期大学部食物栄養学科、生活福祉学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	専攻設置又は課程変更	生活支援科学研究科 地域生活支援学専攻 (M)	27		
216	私立	長崎ウエスレヤン大学	届出	学部学科設置	現代社会学部 経済政策学科	22	○ 現代社会学部経済政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
217	私立	長崎総合科学大学	届出	学部設置	工学部 工学科	26	○ 工学部工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
218	私立	九州保健福祉大学	届出	学部設置	生命医科学部 生命医科学科	27	○ 生命医科学部生命医科学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等 (吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科) の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等 (社会福祉学部臨床福祉学科、保健科学部言語聴覚療法学科、視機能療法学科、吉備国際大学社会科学部経営社会学科、保健医療福祉学部社会福祉学科、心理学部心理学科、外国語学部外国学科、アニメーション文化学部アニメーション文化学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
219	私立	宮崎国際大学	認可	学部設置	教育学部 児童教育学科	26	○ 教育学部児童教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
							○ 教育学部児童教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等 (国際教養学部比較文化学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
220	私立	第一工業大学	届出	学部学科設置	工学部 航空工学科	23	○ 工学部航空工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
			届出	学部学科設置	工学部 自然環境工学科	23	○ 工学部航空工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見
							○ 工学部自然環境工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
							○ 同一設置者が設置する既設学部等 (工学部機械システム工学科、建築デザイン学科) の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見

NO	設置区分	大学名等	認可 受理 届出	設置区分	学科等、併設課程等	設置 年度	是正意見 改善意見
221	私立短大	札幌大学女子短期大学部	届出	短大学科設置	キャリアデザイン学科	25	<p>○ キャリアデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>○ キャリアデザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p>
222	私立短大	青森明の星短期大学	届出	短大学科設置	子ども福祉未来学科 保育専攻 介護福祉専攻	26	<p>○ 子ども福祉未来学科介護福祉専攻の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p> <p>○ 子ども福祉未来学科介護福祉専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> <p>○ 子ども福祉未来学科保育専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
223	私立短大	弘前医療福祉大学短期大学部	認可	短大学科設置	救急救命学科（3年制）	26	<p>○ 救急救命学科（3年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（生活福祉学科介護福祉専攻、食育福祉専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
224	私立短大	聖和学園短期大学	届出	短大学科設置	保育学科	28	<p>○ 保育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
225	私立短大	仙台青葉学院短期大学	認可	短大学科設置	栄養学科	27	<p>○ 栄養学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>
226	私立短大	小田原短期大学	認可	短大収容定員増	食物栄養学科 保育学科（通信教育課程）	28	<p>○ 平成26年に開設して以降入学定員を超過して学生を受け入れ、平成28年度に入学定員を大きく増加させても、なお入学定員以上の学生を受け入れていることについて、大学として入学定員を守る意識がないと言わざるを得ないことから、適切な定員管理を行うこと。（保育学科（通信教育課程））</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（東京未来大学モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
227	私立短大	金沢学院短期大学	届出	短大学科設置	現代教養学科	28	<p>○ 現代教養学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
228	私立短大	大垣女子短期大学	届出	短大学科設置	看護学科（3年制）	25	<p>○ 看護学科（3年制）において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p>

							○ 同一設置者が設置する既設学部等（デザイン美術学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
229	私立短大	岐阜保健短期大学	認可	短大設置	看護学科（3年制）	19	○ 同一設置者が設置する既設学部等（リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見
230	私立短大	東海学院大学短期大学部	届出	短大学科設置	幼児教育学科	26	○ 幼児教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（東海学院大学健康福祉学部総合福祉学科、管理栄養学科、人間関係学部心理学科、子ども発達学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見
231	私立短大	愛知江南短期大学	届出	短大学科設置	こども健康学科 栄養専攻 保育専攻	25	○ こども健康学科栄養専攻の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ こども健康学科栄養専攻において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 改善意見
232	私立短大	名古屋経営短期大学	届出	短大学科設置	未来キャリア学科	26	○ 未来キャリア学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 未来キャリア学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（子ども学科、健康福祉学科、名古屋産業大学環境情報ビジネス学部環境情報ビジネス学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見 改善意見
233	私立短大	池坊短期大学	認可	短大学科設置	幼児保育学科	28	○ 幼児保育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 ○ 幼児保育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。 ○ 同一設置者が設置する既設学部等（環境文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 改善意見 改善意見
234	私立短大	大阪成蹊短期大学	届出	短大学科設置	生活デザイン学科	28	○ 生活デザイン学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見
235	私立短大	神戸山手短期大学	届出	短大学科設置	現代生活学科	28	○ 同一設置者が設置する既設学部等（神戸山手大学現代社会学部総合社会学科、観光文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見



NO	設置者 区分	大学名称	設置 文庫 届出	設置区分	学部名・設置科目名等	開校年度	是正意見又は是正建議
236	私立短大	宮崎学園短期大学	届出	短大学科設置	現代ビジネス科	26	<p>○ 現代ビジネス科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> <p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（宮崎国際大学国際教養学部比較文化学科、教育学部児童教育学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>
237	私立高専	金沢工業高等専門学校	届出	高専学科設置	グローバル情報学科	27	<p>○ 同一設置者が設置する既設学部等（金沢工業大学環境・建築学部建築デザイン学科）の入学定員超過の改善に努めること。</p>

## 大学の設置認可・届出の総件数

- 設置届出制の導入後、設置総件数は増加したが、平成19年度以降は減少傾向。
  - 組織改編全体の過半を届出設置が占める。
- (16年度58.5%, 17年度67.6%, 18年度73.9%, 19年度68.8%, 20年度74.8%, 21年度75.1%, 22年度77.2%, 23年度74.9%, 24年度77.5%, 25年度75.1%, 26年度65.9%, 27年度62.7%, 28年度70.3%, 29年度67.8%)

### 設置認可・届出の総件数の推移

平成15年4月から設置届出制を導入  
(平成16年度開設分)

法科大学院の認可が集中  
公立：2 私立：46

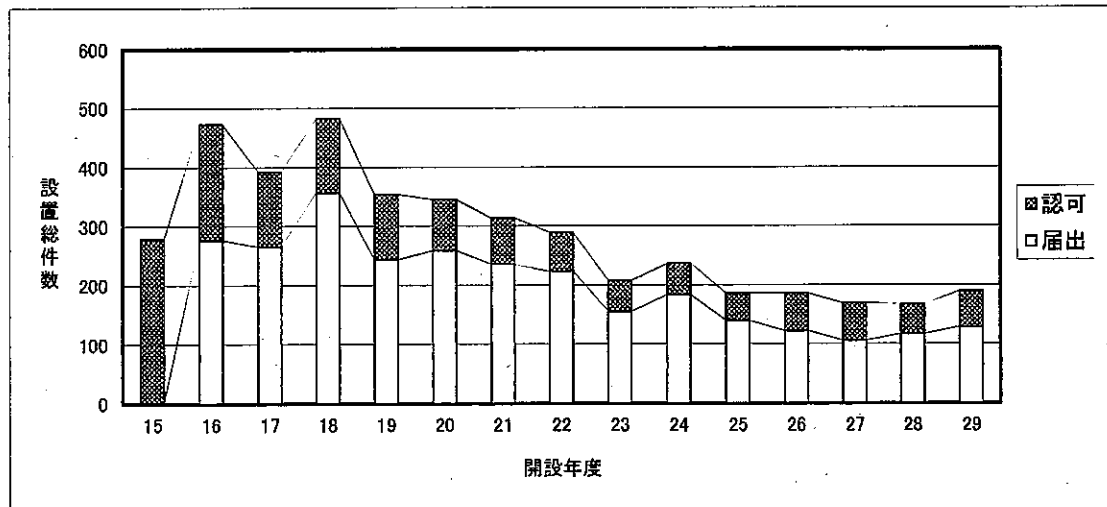
薬学関係学科の届出が集中  
公立：6 私立：62

薬学関係博士課程(4年制)の認可・届出が集中  
(認可) 公立：0 私立：10  
(届出) 公立：3 私立：28

開設年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
認可	277	196	127	126	110	87	78	66	52	53
届出	1	276	265	356	243	258	235	223	155	183
設置総件数	278	472	392	482	353	345	313	289	207	236
総数の事項別内訳	公立	277	223	179	167	129	124	118	83	131
	私立	1	249	213	315	224	218	189	164	105
	大学・短大	7	6	12	21	15	19	10	7	3
	大学院	24	26	15	26	15	22	14	10	10
	小計	31	32	27	47	30	41	32	21	13
	私立	148	243	201	294	209	199	179	157	121
大学・短大	99	197	164	141	114	105	102	104	73	
大学院	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
小計	247	440	365	435	323	304	281	261	194	

開設年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
認可	46	63	63	50	61	
届出	139	122	106	117	127	
設置総件数	185	185	169	167	188	
総数の事項別内訳	公立	139	122	106	117	127
	私立	46	63	63	50	61
	大学・短大	2	5	2	7	1
	大学院	13	9	13	8	10
	小計	15	14	15	15	11
	私立	114	112	97	94	112
大学・短大	56	59	57	58	65	
大学院	—	—	—	—	—	
小計	170	171	154	152	177	

- (注1) 件数は、設置組織数ベース。  
 (注2) 事項別内訳の括弧内は、届出による内数。  
 (注3) 平成18年度開設の薬学関係学科については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。  
 (注4) 平成24年度開設の薬学関係博士課程(4年制)については、形式的な組織改編を伴わない修業年限変更も含む。  
 (注5) 平成26年度開設の公立大学2校と私立大学1校による共同専攻(届出)については、公立大学として計上。  
 (注6) 平成26年度開設の放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻(博士後期課程)(認可)については、公立大学として計上。



# 教職大学院設置計画履行状況等調査の結果等について (平成28年度)

## 1. 調査の目的等

教職大学院における設置計画履行状況等調査（以下、「アフターケア」という。）は、文部科学省令（※1参照）及び告示（※2参照）に基づき、教職大学院の設置認可時等における留意事項及び授業科目の開設状況、教員組織の整備状況、その他の設置計画の履行状況について、各教職大学院の教育水準の維持・向上及びその主体的な改善・充実に資することを目的として実施するものである。

## 2. 実施体制及び実施方法

大学設置・学校法人審議会大学設置分科会では、アフターケアについて、運営委員会の下に「設置計画履行状況等調査委員会」を設置し、所要の調査審議を行っているが、教職大学院については、高度専門職業人としての大学院段階での教員養成の中核を担うものであるという制度の特質を踏まえ、特に専門的な調査審議を行う必要があることから、「教職大学院特別審査会」（別紙1）に付託し、調査に当たっている。

教職大学院特別審査会では、完成年度を迎えていない教職大学院（20件）（別紙2）を対象として書面調査を実施した。書面調査は、大学から提出された「設置計画履行状況報告書」及びこれを裏付ける詳細な「補足説明資料」に基づき実施した。なお、書面調査の結果、大学からの追加の説明聴取が必要であると判断された大学はなかった。

## 3. 総合所見

調査対象となった20件の教職大学院については、高度な実践力・応用力を有する教員を養成する専門職大学院として、設置の趣旨・計画に沿って教育活動が進められており、学生の入学状況、授業科目、教員組織、教員の資質の維持向上の方策（FD活動等）、自己点検・評価などの調査項目において、概ね適切に実施されていたことから、意見を付さないこととした。なお、設置時の留意事項の中には、教育委員会との連携や実習、シラバスの充実などの意見が付されていた例もあり、各教職大学院においては、引き続きその教育目的を達成するための間断なき努力が求められる。

今後、各教職大学院において、これまでの取組の成果と課題を検証するとともに、学部や既存の大学院においても、教職大学院の成果を踏まえ、教育委員会・学校現場等と連携しつつ、理論と実践が融合した新しい教育方法の実施・実習の充実などの教育内容の見直しや、大学教員の資質向上などを図ることで、教員養成全体の改革を図っていくことが期待される。

## 4. 今後の取組

本年の調査の結果も踏まえ、来年度も引き続き、各大学における対応状況について書面による報告を求め、設置計画履行状況を確認する方針である。また、教職大学院の認証評価（※3）を行う認証評価機関との有機的な連携を図るべく、これまでと同様、本調査の結果を認証評価機関に送付することとしている。

※1 大学の設置等の認可の申請及び届出に係る手続等に関する規則(平成18年3月31日文部科学省令第12号) (抄)

第14条 文部科学大臣は、設置計画及び留意事項の履行の状況を確認するため必要があると認めるときは、認可を受けた者又は届出を行った者に対し、その設置計画及び留意事項の履行の状況について報告を求め、又は調査を行うことができる。

※2 文部科学省告示第50号(平成15年3月31日) (抄)

大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第33条の規定に基づき、新たに大学院等を設置する場合の教員組織、校舎等の施設及び設備の段階的な整備について次のように定める。

1～2 (略)

3 文部科学大臣は、大学院等の設置又は課程の変更を認可した後、当該認可時における留意事項、授業科目の開設状況、教員組織の整備状況その他の年次計画の履行状況について報告を求め、必要に応じ、書類、面接又は実地により調査することができるものとする。

※3 学校教育法(昭和22年3月31日法律第26号) (抄)

第109条

1～2 (略)

3 専門職大学院を置く大学にあつては、前項に規定するもののほか、当該専門職大学院の設置の目的に照らし、当該専門職大学院の教育課程、教員組織その他教育研究活動の状況について、政令で定める期間ごとに、認証評価を受けるものとする。ただし、当該専門職大学院の課程に係る分野について認証評価を行う認証評価機関が存在しない場合その他特別の事由がある場合であつて、文部科学大臣の定める措置を講じているときは、この限りでない。

(別紙1)

大学設置・学校法人審議会（大学設置分科会）  
教職大学院特別審査会委員 委員名簿

◎…主査    ○…主査代理

【委員】

小杉 礼子	独立行政法人労働政策研究・研修機構特任フェロー
中山 峰男	崇城大学長・理事長
時野谷 茂	会津大学理事・短期大学部長

【特別委員】

近藤 倫明	北九州市立大学長
小林 雅之	東京大学大学総合教育研究センター教授
○後藤 ひとみ	愛知教育大学長
武見 ゆかり	女子栄養大学教授
杉谷 祐美子	青山学院大学教授

【専門委員】

添田 久美子	和歌山大学大学院教育学研究科教職開発専攻長 学長補佐（教員養成改革担当）
納富 恵子	福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻教授
松木 健一	福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻教授
◎加治佐 哲也	独立行政法人国立高等専門学校機構常勤監事
米田 豊	兵庫教育大学学校教育研究科副学長・教育実習総合センター長
渡邊 恵子	国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長

(別紙2)

## 教職大学院設置計画履行状況等調査の対象校一覧(平成28年度)

	区分	設置 年度	大学院名	研究科・専攻名	入学定員	位置
1	国立	27	宇都宮大学大学院	教育学研究科 教育実践高度化専攻	15	栃木県
2	国立	27	大阪教育大学大学院	連合教職実践研究科 高度教職開発専攻	30	大阪府
3	国立	28	岩手大学大学院	教育学研究科 教職実践専攻	16	岩手県
4	国立	28	秋田大学大学院	教育学研究科 教職実践専攻	20	秋田県
5	国立	28	茨城大学大学院	教育学研究科 教育実践高度化専攻	15	茨城県
6	国立	28	埼玉大学大学院	教育学研究科 教職実践専攻	20	埼玉県
7	国立	28	千葉大学大学院	教育学研究科 高度教職実践専攻	20	千葉県
8	国立	28	新潟大学大学院	教育学研究科 教育実践開発専攻	15	新潟県
9	国立	28	富山大学大学院	教職実践開発研究科 教職実践開発専攻	14	富山県
10	国立	28	金沢大学大学院	教職実践研究科 教職実践高度化専攻	15	石川県
11	国立	28	信州大学大学院	教育学研究科 高度教職実践専攻	20	長野県
12	国立	28	和歌山大学大学院	教育学研究科 教職開発専攻	15	和歌山県
13	国立	28	島根大学大学院	教育学研究科 教育実践開発専攻	17	島根県
14	国立	28	広島大学大学院	教育学研究科 教職開発専攻	20	広島県
15	国立	28	山口大学大学院	教育学研究科 教職実践高度化専攻	14	山口県
16	国立	28	香川大学大学院	教育学研究科 高度教職実践専攻	14	香川県
17	国立	28	愛媛大学大学院	教育学研究科 教育実践高度化専攻	15	愛媛県
18	国立	28	佐賀大学大学院	学校教育学研究科 教育実践探究専攻	20	佐賀県
19	国立	28	大分大学大学院	教育学研究科 教職開発専攻	10	大分県
20	国立	28	琉球大学大学院	教育学研究科 高度教職実践専攻	14	沖縄県
	合計		20大学		339	

# 大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査結果について（平成28年度）

## 1. 調査の目的

本調査は、「学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準（平成19年文部科学省告示第41号）」（※1参照）及び「大学等設置に係る寄附行為（変更）認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領（平成26年12月12日大学設置・学校法人審議会学校法人分科会長決定）」（※2参照）に基づき、大学等設置に係る寄附行為（変更）認可時の留意事項が確実に履行されているかを確認し、あわせて学校法人の経営の実態及び施設等の整備の進捗状況を把握し、学校法人の健全な経営の確保に必要な指導、助言を行うため実施している。

## 2. 調査の内容・方法

調査は、※2の要領に基づき、大学等の設置が認可された学校法人に対して、原則として当該設置する大学等が完成年次に達するまでの間、毎年度、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会（別紙1）が実施している。

調査の内容は、①認可以降の意見等の履行状況、②施設・設備の年次計画の実施状況、③経営の実態（役員の就任状況などの管理運営面、資産・収支状況などの財政面）、について行っている。

調査の方法は、全ての調査対象学校法人（133法人）に対して書類調査を実施し、そのうち、大学・短大新設等の場合で設置学部等が完成年次を迎えた学校法人を中心に9法人について実地調査を実施し、特例により医学部を増設した1法人について面接調査を実施した。いずれの場合も問題点や課題等があった場合は是正意見又は改善意見として学校法人に通知し、改善を促すものとする。

## 3. 平成28年度調査結果の概要

今回の調査の結果、一部意見が付されたものがあるが、全体的には設置計画が着実に履行されていた。今回の調査結果として各学校法人に付す是正意見及び改善意見は別紙2のとおりであり、調査内容ごとの調査結果の概要は以下のとおりである。

### ① 認可以降に付された意見に対する履行状況

各学校法人においては、認可以降に付された管理運営や財務等に関する意見に対して、その改善に取り組んでいることを確認したが、事案によっては改善状況が十分ではないため、同じ内容について、継続して意見を付す事案が見られた。

### ② 施設・設備の年次計画の実施状況

概ね計画どおり履行されていたが、一部の学校法人で追加工事等により計画に変更が生じる場合において必要な手続きを行っていない事案が見られた。





### ③ 経営の実態

管理運営面において、一部の学校法人で評議員数が理事数の2倍を超えていない事案や、監事が出席せずに理事会又は評議員会を開催するなどの是正が必要な事案が見られた。

財務面においては、定員未充足や収支が継続してマイナスである事について改善が必要な事案が多く見られた。

なお、本調査において付される意見の定義は以下のとおりである。

- (1) 是正意見：法令違反の状況や管理運営上著しく不適切な状況等があり、学校法人に早急な是正を求める事項に付す意見。
- (2) 改善意見：寄附行為に基づいた運営がなされていない場合や、設置計画に基づいた整備がなされていない場合に付す意見。(認可時の留意事項や改善意見を付した事項について、引き続き改善を求める場合を含む。)

## 4. 履行状況報告書の情報公開等

大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備計画の履行状況等を記載した報告書(以下、「履行状況報告書」という)を、学校法人として積極的に公開することは大変意義がある。

また、設置認可と認証評価との連続性の確保が重要な課題であることから、各学校法人におかれては、認証評価機関から履行状況報告書の提出を求められた際には積極的に提供いただくことを期待したい。

なお、設置認可と認証評価の有機的な連携が図られるよう、各認証評価機関に対し、本調査の結果を参考資料として送付することとしたい。

## 5. 平成29年度の実施方針

調査対象については、これまでと同様に、大学等の設置認可後、当該学部等が完成年次に達するまでの期間に該当する学校法人を対象とすることとしたい。調査方法等については、大学設置・学校法人審議会学校法人分科会における審議等を踏まえ、更なる内容の充実を図ることとしたい。



(参考)

※1

○学校法人の寄附行為及び寄附行為の変更の認可に関する審査基準

(平成19年文部科学省告示第41号)(抄)

第6 その他

- 3 文部科学大臣は、第1から第4までの規定に基づく認可に係る計画及び留意事項の履行の状況及び学校法人の経営の実態を確認するため必要があると認めるときは、書類、実地等による調査を実施すること。

※2

○大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査実施要領

(平成26年12月12日学校法人分科会長決定)(抄)

3 調査方法

調査は、書類調査、実地調査等の方法により、毎年度1回実施する。ただし、特別の必要がある場合は必要に応じてその都度実施する。

4 調査内容

- (1) 留意事項等の履行状況
- (2) 施設・設備の年次計画の実施状況
- (3) 役員の就任状況
- (4) 事務組織の整備状況
- (5) 入学者の状況
- (6) 学校法人の資産及び収支の状況(借入金の状況、学生納付金及び寄附金の状況、給与の支給状況等を含む。)
- (7) その他(学校法人の管理運営状況等)



## 大学設置・学校法人審議会（学校法人分科会）委員名簿

氏名	現職
いしだ つねお 石田 恒夫	(学) 石田学園理事長
うらの みつと 浦野 光人	(株) ニチレイ相談役
おおくま あきこ 大隈 暁子	公認会計士
○ おぼら ぶみ 小原 芳明	(学) 玉川学園理事長・大学長
かわなみ ひろずみ 川並 弘純	(学) 東京聖徳学園理事長・学園長、聖徳大学短期大学部学長
こまむら けいご 駒村 圭吾	(学) 慶應義塾 常任理事
さかい しょうざぶろう 酒井 正三郎	(学) 中央大学理事、総長・大学長
しまだ よういち 島田 陽一	早稲田大学 副総長・常任理事
たきかわ よしひこ 滝川 嘉彦	(学) 滝川学園理事長・学園長
にしむら えみ 西村 枝美	関西大学法学部教授
の だ けんじ 野田 賢治	(学) 浪商学園 理事長
◎ ひだか よしひろ 日高 義博	(学) 専修大学 理事長
ふるさか さちよ 古阪 幸代	WFM Women's Facility Management 代表
むらた おさむ 村田 治	関西学院大学長

◎：分科会長 ○：分科会長職務代理



## (別紙2)

## 平成28年度大学等設置に係る寄附行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況調査意見

調査対象 133法人

No.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
1	愛知学院	24	研究科増設	愛知学院大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
2	藍野学院	27	大学院新設	藍野大学大学院	看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
3	青森田中学園	26	学部増設	青森中央学院大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 資産総額変更登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
4	朝日大学	26	学部増設	朝日大学	保健医療学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
5	足利工業大学	26	学部増設	足利工業大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (足利工業大学 工学部 創生工学科)</p>
6	跡見学園	27	学部増設	跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 コミュニティデザイン学科)</p>
7	幾徳学園	27	学部増設	神奈川工科大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
8	池坊学園	28	短大の学科設置	池坊短期大学	幼児保育学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 未整備の規程を整備すること。 (役員報酬規程)</p> <p>○ 代表者の登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (池坊短期大学 幼児保育学科)</p> <p>○ 生徒等の募集を停止中の池坊文化学院については、再開するか否かなどについての検討を行い、適切な措置を講ずること。</p>
9	稲置学園	28	学部増設	金沢星稜大学	人文学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表者の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢星稜大学 人文学部 国際文化学科)</p>

No.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
10	いわき明星大学	28	大学の設置者変更	いわき明星大学	理工学研究科(M)(D) 人文学研究科(M)(D) 薬学部 教養学部 (科学技術学部) (人文学部)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (いわき明星大学 教養学部 地域教養学科)</p>
11	岩手医科大学	25 28	研究科増設 短大の設置者変更	岩手医科大学大学院 岩手看護短期大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
12	江戸川学園	26	学部の学科増設	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部 こどもコミュニケーション学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (江戸川大学 社会学部 現代社会学科、メディアコミュニケーション学部 こどもコミュニケーション学科)</p>
13	大阪青山学園	27	学部の学科増設	大阪青山大学	健康科学部看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
14	大阪医科薬科大学	26	研究科増設	大阪医科大学大学院	看護学研究科(M) 看護学研究科(D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
15	大阪経済法律学園	27 28	大学院新設 学部増設	大阪経済法科大学大学院 大阪経済法科大学	経済学研究科(M) 国際学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
16	大阪成蹊学園	26	学部増設	大阪成蹊大学	教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
17	大手前学園	28	学部増設	大手前大学	健康栄養学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大手前大学 通信教育部 現代社会学部 現代社会学科)</p>
18	沖縄科学技術大学院大学学園	24	大学院大学新設	沖縄科学技術大学院大学	科学技術研究科[5年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
19	学習院	25 28	学部の学科増設 学部増設	学習院大学 学習院大学	文学部教育学科 国際社会科学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>



No.	学校法人名	開設 年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
20	加計学園	26 28	学部増設 学部増設	千葉科学大学 岡山理科大学	看護学部 教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (倉敷芸術科学大学 産業科学技術学部 経営情報学科 千葉科学大学 薬学部 生命薬科学科、危機管理学部 環境危機管理学科、工芸技術危機管理学科)</p> <p>○ 生徒等の募集を停止中の岡山理科大学専門学校商業実務専門課程については、再開するか否かなどについての検討を行い、適切な措置を講ずること。</p>
21	金井学園	27	学部増設	福井工業大学	スポーツ健康科学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
22	金沢医科大学	27	研究科増設	金沢医科大学大学院	看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
23	金沢学院大学	27 28	研究科増設 学部の学科増設	金沢学院大学大学院 金沢学院大学	スポーツ健康学研究科(M) スポーツ健康学部健康栄養学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (金沢学院短期大学 現代教養学科)</p>
24	金沢工業大学	28	研究科増設	金沢工業大学大学院	イノベーションマネジメント研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
25	河原学園	27 27	学部増設 研究科増設	人間環境大学 人間環境大学大学院	看護学部 看護学研究科(M) 看護学研究科(D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (人間環境大学 人間環境学部 人間環境学科)</p>
26	関西金光学園	26	学部増設	関西福祉大学	発達教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
27	関西大学	26	研究科増設	関西大学大学院	人間健康研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
28	関東学院	25	学部増設	関東学院大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
29	君が淵学園	24	研究科増設	薬城大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
30	九州文化学園	26	研究科増設	長崎国際大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
31	京都育英館	26	大学新設	京都看護大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 未整備の規程を整備すること。 (役員報酬規程、役員退職金支給規程、奨学金給付・貸与規程)</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
32	京都学園	27	学部増設	京都学園大学	健康医療学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都学園大学 人文学部 心理学科)</p>
33	京都女子学園	27	研究科増設	京都女子大学大学院	法学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
34	京都橋学園	24 28	学部増設 研究科増設 学部の学科増設	京都橋大学 京都橋大学大学院 京都橋大学	健康科学部 健康科学研究科(M) 健康科学部救急救命学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
35	共立女子学園	25	学部増設	共立女子大学	看護学部	<p>○ 監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。</p>
36	金城学園	27 27	学部増設 大学院新設	金城大学 金城大学大学院	看護学部 リハビリテーション学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>
37	薫英学園	28	学部の学科増設	大阪人間科学大学	人間科学部理学療法学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>○ 評議員会の委任状について、白紙委任ととれる記載があることから、その在り方について見直すこと。</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科、医療福祉学科、子ども福祉学科、健康心理学科)</p>
38	光華女子学園	27 27	学部増設 研究科増設	京都光華女子大学 京都光華女子大学大学院	こども教育学部 看護学研究科(M)	<p>○ 評議員数が理事数の2倍を超えていないことから、速やかに是正すること。</p> <p>○ 理事会及び評議員会の委任状について、白紙委任ととれる記載があることから、その在り方について見直すこと。</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (京都光華女子大学 健康科学部 心理学科、キャリア形成学部 キャリア形成学科)</p>
39	光星学院	28	学部の学科増設	八戸学院大学	人間健康学部看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (八戸学院短期大学 ライフデザイン学科)</p>
40	神戸学院	26	学部増設	神戸学院大学	現代社会学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにを行うこと。</p>

No.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
41	国際医療福祉大学	24	研究科増設	国際医療福祉大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
42	国際学園	26	大学院大学の設置者変更	日本教育大学院大学	学校教育研究科(P)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 流動比率や繰越収支差額構成比率の推移が近年悪化傾向にあることから、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (星槎大学 共生科学部 共生科学科)</p>
43	相模女子大学	25	学部の学科増設	相模女子大学	学芸学部生活デザイン学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (相模女子大学 学芸学部 日本語日本文化学科、英語文化コミュニケーション学科、人間社会学部 社会マネジメント学科)</p>
44	札幌大谷学園	24 24	学部増設 学部の学科増設	札幌大谷大学 札幌大谷大学	社会学部 音楽学部美術学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 寄附金について、募集要項等に任意である旨が明記されていないことから、改善すること。</p> <p>○ 財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
45	札幌国際大学	28	研究科増設	札幌国際大学大学院	スポーツ健康指導研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (札幌国際大学 人文学部 現代文化学科、観光学部 国際観光学科、スポーツ人間学部 スポーツビジネス学科)</p>
46	三幸学園	26	通信教育課程の開設	小田原短期大学	保育学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 理事が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
47	四條畷学園	27	学部増設	四條畷学園大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 資産総額変更登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
48	静岡精華学園	27	学部増設	静岡福祉大学	子ども学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (静岡福祉大学 社会福祉学部 医療福祉学科、健康福祉学科)</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
49	四徳学園	27	大学新設	長野保健医療大学	保健科学部	<p>○ 評議員数が理事数の2倍を超えていないことから、速やかに是正すること。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実に向上を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記及び財務書類の備付けが遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
50	就実学園	24 26	研究科増設 学部増設	就実大学大学院 就実大学	医療薬学研究科[4年制](D) 経営学部	<p>○ 監事の出席していない理事会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 特になし</p>
51	修文学院	28	学部増設	修文大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (修文大学短期大学部 幼児教育学科 第一部)</p>
52	順正学園	24 24 25	通信制学部の開設 研究科増設 学部増設	吉備国際大学 九州保健福祉大学大学院 吉備国際大学	心理学部子ども発達教育学科 (通信教育課程) 医療薬学研究科[4年制](D) 地域創成農学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (吉備国際大学 社会科学部 経営社会学科、保健医療福祉学部 社会福祉学科、心理学部 心理学科、外国語学部 外国語学科、アニメーション文化学部 アニメーション文化学科、通信教育部心理学部 子ども発達教育学科 九州保健福祉大学 社会福祉学部 臨床福祉学科、保健科学部 言語聴覚療法学科、視機能療法学科、通信教育部社会福祉学部 臨床福祉学科)</p>
53	順天堂	27	学部増設	順天堂大学	国際教養学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
54	松蔭学園	27	学部増設	松蔭大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (松蔭大学 経営文化学部 ビジネスマネジメント学科、経営法学科、金融経済学科、コミュニケーション文化学部 異文化コミュニケーション学科、生活心理学科、日本文化コミュニケーション学科、観光メディア文化学部 観光文化学科、メディア情報文化学科、看護学部 看護学科)</p>
55	城西大学	24 24 28	学部増設 研究科増設 学部の学科増設	城西国際大学 城西国際大学大学院 城西国際大学	看護学部 薬学研究科[4年制](D) 福祉総合学部理学療法学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 未整備の規程を整備すること。 (公益通報に関する規程、入学者選抜規程)</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (城西短期大学 ビジネス総合学科)</p>
56	常翔学園	24 24 26 28	学部増設 研究科増設 学部増設 研究科増設	摂南大学 広島国際大学大学院 広島国際大学 摂南大学大学院	看護学部 薬学研究科[4年制](D) 医療栄養学部 看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
57	聖徳学園	27	学部増設	岐阜聖徳学園大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
58	湘南ふれあい学園	27	大学新設	湘南医療大学	保健医療学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
59	常陽学園	24 28	大学新設 学部の学科増設	東京医療学院大学 東京医療学院大学	保健医療学部 保険医療学部看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
60	神野学園	28	大学院新設	岐阜医療科学大学大学院	保険医療学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中日本自動車短期大学 モータースポーツエンジニアリング学科)</p>
61	檀山女学園	26	研究科増設	福山女学園大学大学院	現代マネジメント研究科(M) 教育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
62	鈴鹿医療科学大学	26	研究科増設	鈴鹿医療科学大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
63	清光学園	25	大学新設	岡崎女子大学	子ども教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態を継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 新設大学の学部と既設の短期大学の学部が同分野であり法人内で競合することから、それぞれの特色を踏まえた学生確保の方策について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。</p>
64	聖泉学園	27	大学院新設	聖泉大学大学院	看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
65	専修大学	25	学部増設	石巻専修大学	人間学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (石巻専修大学 理工学部 機械工学科、情報電子工学科、食環境学科、経営学部 経営学科、人間学部 人間文化学科)</p>
66	栴檀学園	27	研究科増設	東北福祉大学大学院	教育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
67	創価大学	25 27	学部増設 学部の学科増設	創価大学 創価大学	看護学部・ 工学部共生創造理工学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (創価大学 通信教育部 経済学部、法学部、教育学部)</p>
68	創志学園	28	短大の設置者変更 学部増設	東京経営短期大学 環太平洋大学	経営総合学科 経営学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 理事に教学関係者が少ないことから、教学側の意見が適切に反映し得る理事構成に見直すこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (環太平洋大学 次世代教育学部 教育経営学科[通信教育課程])</p>
69	タイケン学園	24	大学新設	日本ウェルネススポーツ大学	スポーツプロモーション学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本ウェルネススポーツ大学 スポーツプロモーション学部 スポーツプロモーション学科)</p>
70	大衆淑徳学園	24 28	学部の学科増設 研究科増設	淑徳大学 淑徳大学大学院	看護学部栄養学科 看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (淑徳大学 経営学部 観光経営学科)</p>
71	大正大学	28	学部増設	大正大学	地域創生学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・決算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (大正大学 地域創生学部 地域創生学科)</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
72	高崎健康福祉大学	24 24	学部増設 研究科増設	高崎健康福祉大学 高崎健康福祉大学大学院	人間発達学部 薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 特になし</p>
73	玉田学園	24	学部増設	神戸常盤大学	教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (神戸常盤大学短期大学部 看護学科 通信教育課程)</p>
74	玉手山学園	28	学部増設	関西福祉科学大学	教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
75	中国学園	27	学部増設	中国学園大学	国際教養学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 定員が充足しない理由を分析するとともに、今まで実施した学生確保のための取組について成果を検証し、定員充足に向け効果的に取り組むこと。 (中国学園大学 国際教養学部)</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (中国短期大学 総合生活学科、情報ビジネス学科)</p>
76	調布学園	27	大学院新設	田園調布学園大学大学院	人間学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
77	鶴岡学園	27	研究科増設	北海道文教大学大学院	健康栄養科学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p>
78	帝京科学大学	28	学部の学科増設	帝京科学大学	医療科学部医療福祉学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京科学大学 医療科学部 医療福祉学科)</p>
79	帝京平成大学	24	研究科増設	帝京平成大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (帝京平成大学 通信教育学部 経営マネージメント学科 通信教育課程)</p>
80	鉄蕉館	24	大学新設	亀田医療大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
81	天理大学	27	研究科増設	天理大学大学院	体育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
82	天理よろづ相談所学園	24	大学新設	天理医療大学	医療学部	<p>○ 監事の出席していない理事会及び評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。</p> <p>○ 私立学校法に定める理事の職務を認識し、管理運営体制の強化に取り組むこと。</p> <p>○ 基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることや、流動比率や繰越収支差額構成比率が急激に悪化していることから、基本金組入れを考慮しつつ、中長期的な財政計画を直ちに作成し、収支の改善に取り組むこと。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
83	桐蔭学園	27	研究科増設	桐蔭横浜大学大学院	スポーツ科学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態に継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
84	東京医科大学	25	学部の学科増設	東京医科大学	医学部看護学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>
85	東京純心女子学園	27	学部増設	東京純心女子大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (東京純心大学 看護学部 看護学科)</p>
86	東京聖徳学園	26	学部増設	聖徳大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (聖徳大学 文学部 文学科、音楽学部 演奏学科 聖徳大学短期大学部 総合文化学科)</p>
87	同志社	24	研究科増設 学部増設	同志社女子大学大学院 同志社女子大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
88	東北医科薬科大学	28	学部増設	東北医科薬科大学	医学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・予算、決算及び監査報告に係る理事会評議員会の開催順序</p>
89	常葉学園	25	学部増設	常葉大学	法学部 健康科学部 経営学部 健康プロデュース学部 保健医療学部 保育学部 社会環境学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (常葉大学短期大学部 英語英文科、音楽科)</p>
90	獨協学園	28	学部増設	姫路獨協大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・予算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (姫路獨協大学 人間社会学群 国際言語文化学類、現代法律学類、産業経営学類 医療保健学部 子ども保健学科、臨床工学科)</p>
91	永原学園	26	学部の学科増設	西九州大学	子ども学部心理カウンセリング学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科)</p>
92	名古屋学院大学	25 27	学部増設 学部の学科増設	名古屋学院大学 名古屋学院大学	法学部 スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (名古屋学院大学 国際文化学部 国際協力学科、スポーツ健康学部 こどもスポーツ教育学科)</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
93	浪商学園	27	学部増設	大阪体育大学	教育学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p>
94	奈良学園	26	学部増設	奈良産業大学	人間教育学部 保健医療学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。</p>
95	新潟青陵学園	26	研究科増設	新潟青陵大学大学院	看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 負債率が高いことから、負債について計画どおり償還し、負債額の減少を図ること。</p>
96	西大和学園	26 28	大学新設 学部増設	大和大学 大和大学	教育学部 保健医療学部 政治経済学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。</p>
97	日本医療大学	26 27 28	大学新設 学部の学科増設 学部の学科増設	日本医療大学 日本医療大学 日本医療大学	保健医療学部 保健医療学部リハビリテーション学科 保健医療学部診療放射線学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
98	日本体育大学	26	学部増設	日本体育大学	保健医療学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
99	日本福祉大学	27	学部増設	日本福祉大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (日本福祉大学 国際福祉開発学部 国際福祉開発学科)</p>
100	二本松学院	24	大学新設	京都美術工芸大学	工芸学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
101	梅花学園	24 27	学部増設 学部の学科増設	梅花女子大学 梅花女子大学	食文化学部 看護学部口腔保健学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
102	演名学院	25 27	学部増設 研究科増設	関西国際大学 関西国際大学大学院	保健医療学部 看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
103	比治山学園	26	学部増設	比治山大学	健康栄養学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
104	兵庫医科大学	25	研究科増設	兵庫医療大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p>
105	弘前城東学園	26	短大の学科設置	弘前医療福祉大学短期大学部	救急救命学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
106	広島文化学園	28	研究科増設	広島文化学園大学大学院	教育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島文化学園大学 社会情報学部 グローバルビジネス学科)</p>
107	福島学院	27	学部の学科増設	福島学院大学	福祉学部こども学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までにすること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (福島学院大学 福祉学部 こども学科 福島学院大学短期大学部 食物栄養科)</p>
108	藤田学院	27	大学新設	鳥取看護大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>



NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
109	富士修紅学院	28	学部増設	健康科学大学	看護学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学年進行中に当初の設置計画が変更されていることから、速やかに文部科学省と協議するとともに、今後、緊急かつやむを得ない事由により計画の変更を行う場合は、あらかじめ文部科学省と協議すること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (健康科学大学 看護学部 看護学科)</p>
110	冬木学園	26	研究科増設	畿央大学大学院	教育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
111	古沢学園	26	学部増設	広島都市学園大学	人間科学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (広島都市学園大学 子ども教育学部 子ども教育学科)</p>
112	法政大学	28	研究科増設	法政大学大学院	スポーツ健康学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (法政大学 法学部(通信教育部)、文学部(通信教育部)、経済学部(通信教育部))</p>
113	奉徳学園	26 27	研究科増設 研究科増設	埼玉学園大学大学院 埼玉学園大学大学院	心理学研究科(M) 子ども教育学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (埼玉学園大学 経済経営学部 経済経営学科)</p>
114	北社学園	27	短大の学科設置	仙台青葉学院短期大学	栄養学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 学生生徒等納付金に対する経常的経費支出の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べて低いことから、同納付金の学生への還元を図ること。</p>
115	北海道科学大学	26	学部の学科増設	北海道科学大学	保健医療学部 看護学科 理学療法学科 診療放射線学科	<p>○ 特になし</p> <p>○ 代表権の登記が遅延して行われていたことから、今後は法令の規定に基づき、所定の期日までに行うこと。</p>
116	堀井学園	24 28	大学新設 大学院新設	横浜創英大学 横浜創英大学大学院	看護学部 子ども教育学部 看護学研究科(M)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。</p>
117	松山大学	26	研究科増設	松山大学大学院	医療薬学研究科[4年制](D)	<p>○ 特になし</p> <p>○ 特になし</p>
118	宮城学院	28	学部増設	宮城学院女子大学	現代ビジネス学部	<p>○ 特になし</p> <p>○ 評議員が欠員となっていることから、速やかに補充すること。</p> <p>○ 理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 ・予算に係る理事会及び評議員会の開催順序</p> <p>○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宮城学院女子大学 学芸学部 人間文化学科)</p>

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
119	宮崎学園	26	学部増設	宮崎国際大学	教育学部	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (宮崎国際大学 国際教養学部 比較文化学科、教育学部 児童教育学科)
120	武庫川学院	27 27	学部増設 研究科増設	武庫川女子大学 武庫川女子大学大学院	看護学部 看護学研究科(M)	○ 特になし ○ 特になし
121	武蔵野大学	25 26	通信教育課程の開設 通信教育課程の開設	武蔵野大学 武蔵野大学大学院	教育学部児童教育学科 (通信教育課程) 環境学研究科 (通信教育課程)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (武蔵野大学 通信教育部 人間科学部 人間科学科、教育学部 児童教育学科)
122	村崎学園	26 28	研究科増設 研究科増設	徳島文理大学大学院 徳島文理大学大学院	看護学研究科(M) 総合政策学研究科(M)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (徳島文理大学 人間生活学部 人間生活学科、メディアデザイン学科、保健福祉学部 人間福祉学科、音楽学部 音楽学科、薬学部 薬学科、文学部 日本文学科、英語英米文学科、文化財学科、理工学部 機械創造工学科、ナノ物質工学科 徳島文理短期大学部 生活科学科、保育科、言語コミュニケーション学科、音楽科、商科)
123	明治学院	27	研究科増設	明治学院大学大学院	法と経営学研究科(M)	○ 特になし ○ 特になし
124	明浄学院	25	学部増設	大阪観光大学	国際交流学部	○ 監事の出席していない理事会・評議員会があることから、私立学校法に定める監事の職務を認識し、今後は監事出席の上で開催すること。 ○ 国際交流学部について、定員充足率が著しく低い水準で推移していることから、学生確保の方策の充実を図るとともに、学部の在り方を検討すること。 ○ 基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続していることや、流動比率や繰越収支差額構成比率が悪化していることから、法人と教職員が一体となり、中長期的な財政計画の実行などにより、経営基盤の安定確保を図ること。
125	安田学園	25 26	研究科増設 学部増設	安田女子大学大学院 安田女子大学	薬学研究科[4年制](D) 看護学部	○ 特になし ○ 事業活動支出に対する教育研究経費の割合が同系統の大学等を設置する学校法人に比べ低く、また、近年この割合が低下傾向にあることから、教育研究条件の充実向上を図ること。
126	山梨学院	27 28	学部増設 学部増設	山梨学院大学 山梨学院大学	国際リベラルアーツ学部 スポーツ科学部	○ 特になし ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が継続しているとともに、近年、流動比率が低下していることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保について速やかに取り組むこと。 ○ 定員未充足の原因分析を行った上で、法人及び大学が一体となり、戦略性を持って各種方策の充実や実効性の向上を図ること。 (山梨学院大学 国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科)
127	行岡保健衛生学園	24	大学新設	大阪行岡医療大学	医療学部	○ 特になし ○ 特になし
128	行吉学園	27	学部増設	神戸女子大学	看護学部	○ 特になし ○ 特になし
129	吉田学園	25	大学新設	札幌保健医療大学	看護学部	○ 特になし ○ 特になし
130	立命館	26	研究科増設	立命館大学大学院	薬学研究科[4年制](D)	○ 特になし ○ 今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。 (立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 国際経営学科)

NO.	学校法人名	開設年度	区分	学校名	学部・学科等名	是正意見
						改善意見
131	龍谷大学	27	学部増設	龍谷大学	農学部	○ 特になし ○ 特になし
132	渡辺学園	26	学部増設	東京家政大学	看護学部 子ども学部	○ 特になし ○ 特になし
133	和洋学園	26	学部の学科増設	和洋女子大学	人文学群こども発達学類	○ 特になし ○ 近年、基本金組入前当年度収支差額がマイナスの状態が続いていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保を図ること。

